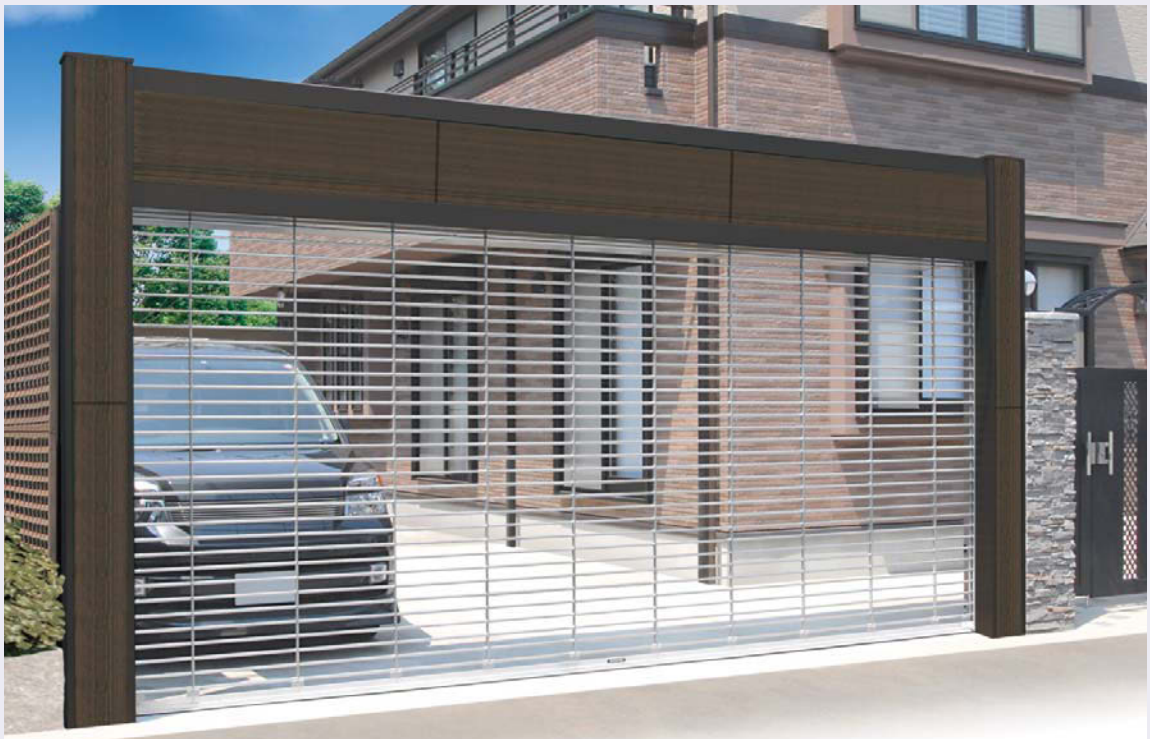
車庫まわり　シャッターゲート

エバーアートボード シャッターゲートN1型 特長

色の組み合わせでデザイン性豊かな車庫まわりに



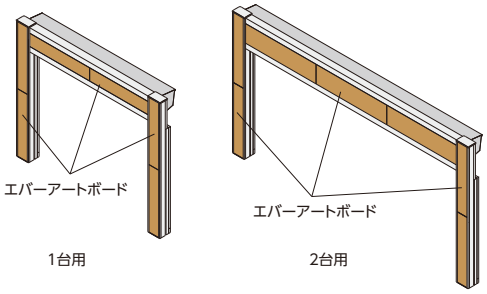
写真はイメージ（エバーアートボード：ブラックエボニー、フレーム：マロンブラック）

エバーアートボードによる化粧を前面に施しました

01 エバーアートボードによる化粧が前面3カ所に入ります

前面3カ所に、エバーアートボード化粧。
（その他の部分はステンカラーまたはマロンブラック）
エバーアートボードが入る部分の壁面は「下地ボード」仕様。
現場ですでにカットされたボードを貼る施工になります

下地ボード
炭酸カルシウム発泡板



1台用　2台用

02 エバーアートボードのカラーは全8色から選べます

その他のカラーについては、別注対応可能です

ダークパイン　ブラックエボニー　ブラウンエボニー　ホワイトパイン　ナチュラルパイン　京町家かきちゃ　ラスティコッパー　トラバーチン

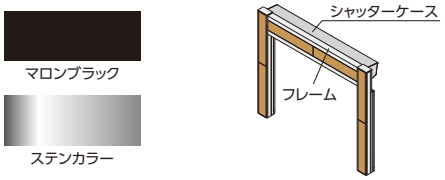
※発注には「オーダーシート」(P.1454)を使用してください

エバーアートボード
シャッターゲートN1型

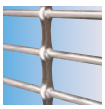
この商品は、エバーアートボードおよび下記のエバーアートボード取付部品を除き、三和シャッター工業株式会社が製造しています。

フレーム、シャッターケースは2色から選べます

マロンブラック、ステンカラーの2色をご用意しました。



シャッターは4種類あります

		アルミグリル	ステンレスグリル	アルミハイリンク	アルミスラット
シャッタータイプ					
パイプ径	1台用	φ13mm	φ13mm	φ13mm	—
	2台用	φ16mm	φ16mm	φ16mm	—
シャッター材質		アルミ	ステンレススチール	アルミ	アルミ
スラットカラー		—	—	マロンブラック　ブロンズ	ステンカラー

※アルミハイリンクシャッターは、下から約1mまでがアルミスラットになります
※凍結のおそれがある地域では、アルミハイリンクシャッター、アルミスラットシャッターの採用はお控えください

シャッターは電動式です

シャッターは便利な電動式です。

1台用

2台用

電動式標準機能

リモコン

車に乗ったままシャッターを開閉できるので雨の日などは特に便利です。受信アンテナはゲートに内蔵し、意匠性を高めています。

障害物検知装置【電池交換不要】

非接触型の障害物検知装置(光電センサ)を2カ所に設置。シャッター下降中に光線が遮られると0.5秒間反転上昇し、停止します。

タイプ＼サイズ(mm)		定番サイズ 幅(W)※		高さ(H)		別注範囲 幅(W)※	高さ(H)
1台用		W29	2860	H23	2300	1900～2860	1800～2600
				H26	2600		
2台用	アルミグリル ステンレスグリル	W51	5100	H23	2300	4500～5600	1800～2600
		W56	5600				
	アルミハイリンク アルミスラット	W51	5090	H26	2600	4490～5590	
		W56	5590				

※幅はシャッター開口幅を記します

エバーアートボード シャッターゲートN1型

ユニット　アルミ　別注可　受注生産　NEW

■エバーアートボード　シャッターゲートN1型

タイプ	サイズ 幅(W)	高さ(H)	シャッターデザイン アルミグリル	ステンレスグリル	アルミハイリンク	アルミスラット
1台用	2860	2300	¥1,238,000	¥1,238,000	¥1,261,000	¥1,261,000
		2600	¥1,497,000	¥1,497,000	¥1,520,000	¥1,520,000
2台用	5100	2300	¥1,944,000	¥1,944,000	¥2,377,000	¥2,377,000
		2600	¥2,209,000	¥2,209,000	¥2,684,000	—
	5600	2300	¥2,154,000	¥2,154,000	¥2,630,000	—
		2600	¥2,434,000	¥2,434,000	¥2,946,000	—

※フレーム色、シャッターボックスの色を指定してください(マロンブラック、ステンカラー)
※アルミハイリンクおよびアルミスラットは、色を指定してください
(マロンブラック、ブロンズ、ステンカラー)
※エバーアートボードの色を指定してください
※シャッターゲート本体(ゲート+シャッター本体)の運送費および工事費は含みません
※エバーアートボード施工用の接着剤、両面テープ、シーリング材の価格は含みません

■エバーアートボード　取付部品

品　名	価　格	必要数 1台用	2台用
エバーアートボード用接着剤 PM165-R(333mℓ)	¥2,500/本	2本	3本
エバーアートボード用両面テープ 20×1.1×10m	¥1,000/個	1個	2個
エバーアートボードPOSシール (333mℓ)	¥2,500/本	1本	1本
合計		¥8,500	¥12,000

※詳しくはエバーアートボード部材 取付部材(P.74)をご確認ください
●表示価格には消費税および組立費、施工費等は含まれておりません。

使用区分		単体1台用	単体2台用	
使用電源		AC100V(50/60Hz 単相)	AC100V(50/60Hz 単相)	
開閉機	型式	SA6C35R-G	SB10D-35R-18S	SB20D-35R-2S
	出力	40W	130W	200W
	定格電流	1.9A(50Hz) 1.8A(60Hz)	2.8A(50Hz) 2.6A(60Hz)	3.8A(50Hz) 4.6A(60Hz)
	定格時間	5分	5分	6分
消費電力	待機時	9W(50/60Hz)	10W(50/60Hz)	
	動作時	162.5W(50Hz) 175W(60Hz)	300W (50/60Hz)	400W(50Hz) 500W(60Hz)
開閉時間(H=2300)		31秒(50Hz) 26秒(60Hz)	20秒(50Hz) 17秒(60Hz)	
リモコン	数量	2個	3個	
	送信距離	最長到達距離(標準値)40～80m	最長到達距離(標準値)40～80m	
	使用電池	CR2032型リチウム電池(3V)1個	CR2032型リチウム電池(3V)1個	
設計耐用年数と回数(シャッター部)		設計耐用年数は10年。設計耐用回数は1万回開閉。使用環境・頻度、点検、お手入れなどの状況により、記載数値を満たさない場合があります。		
環境条件		周囲温度:−10～+40℃(凍結の恐れのある地域は除きます) 周囲湿度:RH85%以下 沿岸部、化学工場などの腐食性環境及び粉塵発生環境を除きます。		

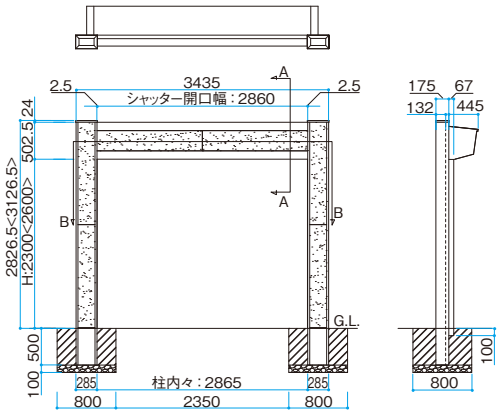
※消費電力にオプション(照明など)の消費電力は含んでいません
※リモコンの送信距離は、地形・建物・環境などの条件により双方に大きく変化します

エバーアートボード P.36　エバーアートボード部材 P.74　オーダーシート P.1454

エバーアートボード シャッターゲート
基本寸法図

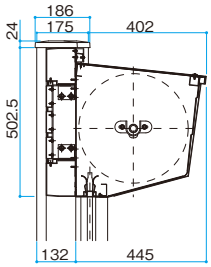
■ エバーアートボード シャッターゲートN1型

1台用

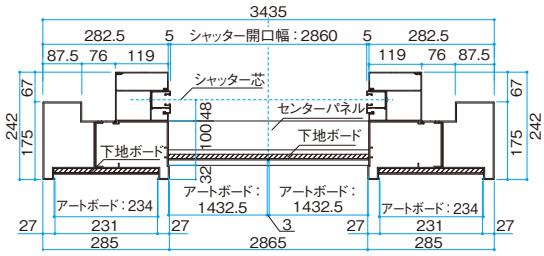


※本図はサイズW2860、H2300とする
※< >内寸法はサイズH2600を示す

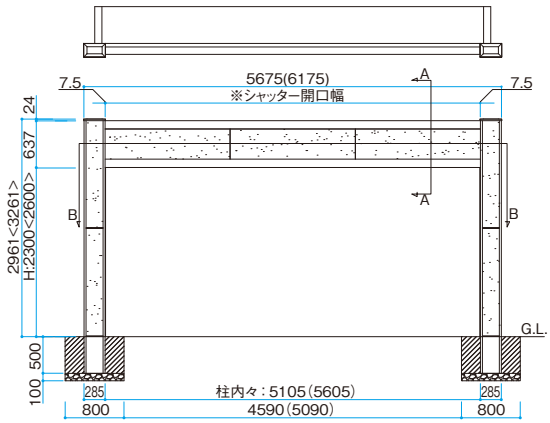
●A-A断面詳細図

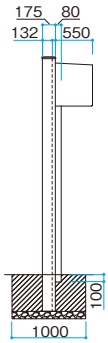


●B-B断面詳細図

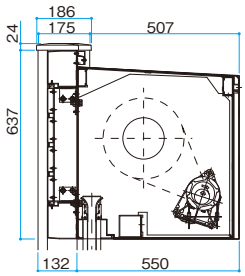


2台用

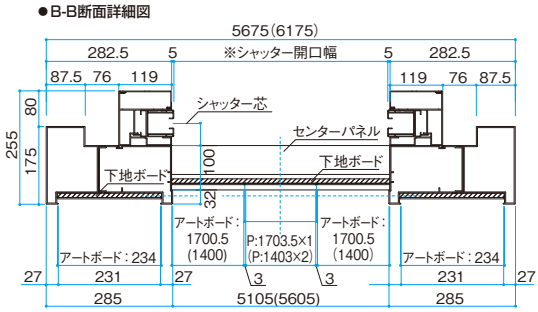




●A-A断面詳細図



●B-B断面詳細図



※本図はサイズW5100、H2300とする
※< >内寸法はサイズH2600を示す
※(　)内寸法はサイズW5600を示す

シャッター開口幅　　単位：mm

シャッター	アルミグリル	ステンレスグリル	アルミハイリンク	アルミスラット
シャッター開口幅	5100（5600）		5090（5590）	

Takasho

T-2612160
BME-0062

組立・施工・取扱説明書

お客様保管用 エバーアートボード シャッターゲートN1型

このたびは、当社商品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。この商品を安全に正しく施工していただくため、この「組立・施工・取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。

安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は安全に関する最も重要な内容です。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解して本文をお読みください。また、本説明書および当社カタログに記載されている内容に反する施工やご使用をされた場合、保証対象外となります。

安全記号	
⚠ 警告	●取り扱いを誤った場合、使用者が死亡もしくは重傷を負う可能性がある危険度が「高い」内容を示しています。
⚠ 注意	●取り扱いを誤った場合、使用者が中、軽傷を負う可能性がある内容、または物的損害の可能性があり危険度が「中、軽い」内容を示しています。
一般記号	
ポイント	●組み立て、施工手順で、特に注意して作業を進める必要がある内容を示しています。 ●注意して守っていただかないと、組み立て、施工が困難、あるいは強度不足のため、施工後不具合が発生する可能性がある内容を示しています。

組立・施工上のご注意

⚠ 警告

●風の強い場所、積雪の多い地域や地盤の弱い場所での施工には、控え柱等の補強が必要です。特に柱の固定を確実に行ってください。転倒など事故の原因となります。
●屋上やがけの上など、商品が落下した場合にケガをする可能性のある高所には設置しないでください。
●取扱説明書に表示している基礎部の埋め込み深さは一般的な場合です。現場の地盤状態に合った基礎部の寸法(体積)にて施工し、安全を確保してください。
●施工時、コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)や、コンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)で塩素系や強アルカリ系のものは、絶対使用しないでください。使用すると、金属部分が腐食し、破損、倒壊の可能性があり危険です。

⚠ 注意

●組み立て、施工場所の整理整頓、適切な安全確保を行ってください。
高所作業での転落、工具、部品の落下や倒壊の防止、暗所作業時の照度の確保などを必ず行ってください。
●工具、器具、保護具(作業服、保護帽、安全靴、安全帯、その他作業者身体の保護具)などは、安全機能を十分に確認し、正しく使用してください。また不具合のあるものは使用しないでください。
●大型商品は、安全に組み立てるため、施工は2人以上で行ってください。
●組み立て、施工は正しく行わないと危険です。組み立て、施工前に必ず取扱説明書をお読みください。
●必ず取扱説明書に従って正しく施工してください。正しい順序で施工されなかった場合には、商品の強度など性能が低下するほか、倒壊につながる場合があります。
●梱包明細表で必要な部材、部品がすべて揃っているか確かめてから、組み立ててください。
●立てかけると変形の恐れがありますので、平らな場所に水平置きし、保管してください。
●エバーアートボードは、アルミとプラスチックの複合材です。割れにくい素材ですが、衝撃や異物の挟み込みにより、キズやへこみ、エッジの変形が生じる恐れがあります。運搬、保管、加工、施工時、取り扱いには注意してください。
●設置場所に正しく施工でき、不具合なく使用することができることを確認してください。
●給湯、暖房機などの熱排気が商品で妨げられ建物内部にこもったり、適切な換気ができなくなるような場所には設置しないでください。
●給湯、暖房機などの排気熱が直接商品に当たると被膜の劣化、はく離につながります。熱の影響のない場所に設置してください。
●通路など、通行の妨げになる場所には設置しないでください。
●給排水管などの地下埋設物に影響を与えないか位置を確認してから施工してください。
●高台、強風地域、特にがけの上、屋上、風の通り道などへの設置は避けてください。
●風の強い場所では、商品の周囲に十分な空間を確保してください。周囲を囲うと商品に予想以上の風圧がかかり、破損、倒壊の可能性があります。
●水はけの悪いと思われる場所には設置しないでください。
●常に水や温水に触れたり水没する場所、また温泉やそれに類する水質に触れたり水没したりする場所には設置しないでください。
●振動、衝撃のある場所には設置しないでください。商品の破損、倒壊につながります。
●大気中に強い酸やアルカリ成分が多く含まれる場所には設置しないでください。商品の性能が低下する可能性があります。
●アルミ製品は、鉄や銅など(ステンレス以外)の異種金属と直接接触すると、腐食する可能性があります。接触する場合は、ビニールテープを巻くか塗料を塗るなどの処理を行ってください。
●腐食成分(塩素イオンなど)を多く含んでいる輸入木材の併用は避けてください。もし使用される場合は、必ずアルミと接触する部分の木材に塗装するなどの処理を行ってください。
●商品が腐食する可能性のある接着剤や溶剤などの化学薬品に、接することがないように注意してください。
●取扱説明書に表示している基礎部の埋め込み深さは一般的な場合です。
現場の地盤状態に合った基礎部の寸法(基礎体積)にて施工し、安全を確保してください。
●土地の高低にかかわらず、柱の埋め込み深さを十分確保してください。
●組み立て、施工時は、商品にキズがつかないように十分注意してください。

組立・施工上のご注意

⚠ 注意

●組み立て、施工用のボルト、ビスは規定本数(当社指定純正品)を確実に締め付け、固定してください。
●エバーアートボードの面材はアルミを使用しています。湿潤状態で異種金属と接触すると、電位差により、電食が発生します。接合に使用するリベット、ボルト類の材質は、電食を考慮して選んでください。
●エバーアートボードの切断面は、大変危険です。加工、施工時は、保護手袋等を使用してください。
●商品にバリがある場合は取り除いてください。特に切り詰めなど現場加工の場合は必ず行ってください。
●組み立て、施工時に、雨水がたまらないように十分注意してください。
●商品の一点をハンマーで叩いたり、ハシゴをかけるなどして強い衝撃を与えますと破損事故の原因になりますので、絶対しないでください。
●商品を異なる材質のものに固定すると温度差により多少伸縮する場合があります。施工時に、商品に必ず大きめの穴をあけて固定してください。
●柱の水抜き穴は、モルタルなどで塞がないでください。
●組み立て、施工時、商品にコンクリート(またはモルタル)の抽出液が付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性のため、施工後シミ、ムラなどが発生し、外観不良の原因になります。付着した場合は、速やかに水を含ませた布などでふき取ってください。
●コンクリートは製品に記載されている配合率や注意事項に従って使用してください。養生期間(4〜7日)は十分に確保し、養生期間中は重量物をのせたり、振動させたり、物を立てかけたりはしないでください。
●商品に雨水がたまらないように、適切な位置に水抜き穴をあけることをおすすめします。
●雨水等の浸入防止のために、必要な箇所には必ずシーリング材を充填してください。
●組み立て、施工終了後は、必ず商品が正しく組み立てられているか確認してください。特にボルト、ビスなどにゆるみがないか確認してください。
●組み立て、施工終了後は、施工時の汚れをきれいに取り除いてください。
●施工後の残材は他の一般廃棄物と区別し、素材別に分けた上で専門業者に処理を委託してください。
●構造物、建築物の屋根などからの雪の落下を受けない位置に設置してください。
●積雪のある地域では、雪により商品が倒壊しても危険がない場所に設置してください。
●凍上する可能性のある寒冷地に設置する場合は、必ず凍上線の下まで基礎部を確保するように施工してください。
●寒冷地でご使用になる場合は、柱に水抜き穴をあけて、柱用の穴に柱を立ててから、モルタルを入れてください。モルタルを入れてから柱を立てると、柱の内部に水がたまり、凍結破損の原因になることがあります。
●安全を確保するため、組み立て、施工は必ず専門の業者が行ってください。
●商品の改造は絶対にしないでください。商品の性能が落ち、強度不足による破損、倒壊の可能性があり危険です。
●誤った使用を避けるため、組み立て、施工終了後、必ず取扱説明書はお施主様にお渡しして、取り扱いの注意、メンテナンスについて説明してください。

使用上のご注意

⚠ 警告

●アルミ製品は、高温になる場所では他の金属材料に比べて熱による変形が生じやすい材料です。商品の近くで火気を使用しないでください。
●運動具やお子様の遊具、踏み台、ふとんや洗濯物を干す等、目的以外の使用は絶対にしないでください。

⚠ 注意

●商品の一点をハンマーで叩いたり、ハシゴをかけるなどして強い衝撃、荷重を与えると破損、倒壊事故の原因になります。絶対にしないでください。
●無理な荷重をかけないでください。商品の上で飛んだり、跳ねたりしないでください。ぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。人が乗ったり、体重をかけたりしないでください。

使用上のご注意

⚠ 注意

●局部的に重い物をのせたり、立てかけたり、ぶらさげたりしないでください。ボールなど投げつけたりしないでください。
●商品の付近で農薬や殺虫剤などの薬剤を使用する場合は、表面に付着しないようにしてください。表面が変色する恐れがあります。
●安全性の高い材料を使用しておりますが健康を害する恐れがありますので、小さなお子様やペットがなめたり、かじったりしないように注意してください。
●商品の切り口に切断時のバリが残っている場合や、現場加工にともないささくれが発生する場合があります。手などにケガをしないように、取り扱いには十分注意してください。発見した場合は放置せず、施工店様に連絡してください。
●商品を改造したり、穴をあけたり、当社オプション品、付属品以外の取り付けは避けてください。商品の性能が低下する可能性があり危険です。
●アルミ製品の表面にキズが付いたり、塗装はがれが生じると、商品の腐食や強度低下の原因になりますので、取り扱いには十分注意してください。
●エバーアートボードの熱変形温度は約110℃で、ポリエチレン単体より高くなっています。大きな力がかからない状態で、短時間であれば、100℃程度の高温にも耐えられます。ただし、実用上、高温雰囲気で長時間使用する場合は、70℃程度までで使用してください。
●エバーアートボードの面材はアルミを使用しているため、アルミ単板と同様に、腐食が生じます。酸性やアルカリ性の物質(土やモルタル等)に直接接触しないようにしてください。
●エバーアートボードの端部が、アルミを侵す環境(海岸部等)におかれる場合は、注意して使用してください。
●強い雨の場合、雨水が浸入する可能性がありますので注意してください。
●安全のため、定期的に接合部のボルト、ナット、ビス等にゆるみがないか確認して使用してください。ゆるみがあれば締め直しを行ってください。お施主様でできない場合は施工店様に依頼し必ず直してください。
●商品が破損したり、グラつく場合は、すぐに施工店様に連絡してください。破損したままで使用していると事故の原因となり危険です。

メンテナンスのご注意

◆汚れの程度と掃除方法

内　容	用　具	方　法
軽い汚れの場合	柔らかい布 スポンジ 水	柔らかい布、スポンジで水ぶきした後、からぶきしてください。
ひどい汚れの場合	柔らかい布 中性洗剤	中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いしてください。 その後、からぶきしてください。

◆お手入れのご注意

●お手入れには布やスポンジなどの柔らかいものを使用してください。
●金属ブラシ、金ベラ、スチールウール、目のあらい紙ヤスリなどは使用しないでください。
●小石、砂などが付着したままこすると、アルミ表面にキズが付きます。あらかじめ取り除いてください。
●酸性およびアルカリ洗剤、アルコール、ベンジン、アセトンなどの有機溶剤や石油類などは使用しないでください。アルミの腐食、塗膜のはがれ、ツヤ落ちの原因になります。
●市販のクリーナーは、成分をよくチェックし、事前に目立たない部分に使用し、塗膜の変化や軟化等がないか確認してください。
●安全のため、定期的にガタツキがないか確認してご使用ください。
●工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
●定期的なお手入れにより、アルミ製品をいつまでも美しく保つことができます。

廃棄について

ご不要になった商品、また現場で発生しました残材等につきましては、各地域の条例等に従って正しく処分してください。

組立・施工の前に

三和シヤッター サンゲートN型（下地パネルタイプ）の取付説明書を必ず併せて確認してください。

⚠ ご注意

三和シヤッター サンゲートN型取付説明書 P.9にある サイドパネルの設置 の前に、エバーアートボードおよび見切材の取り付けを行います。シャッターのサイドパネル埋設前※に、本組立・施工を実施してください。
※本取扱説明書は埋設前の施工方法を記しますが、埋設後でも取り付けは可能です。

基本寸法

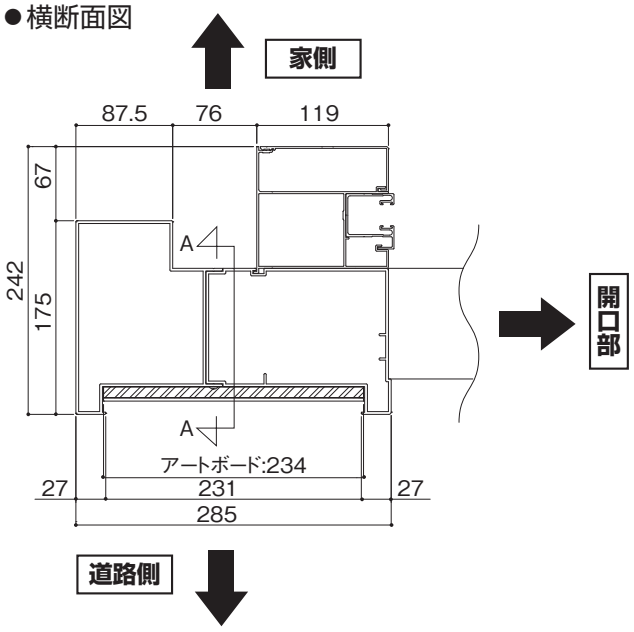
※（ ）内寸法は2台用を示します。
※〈 〉内寸法はH:26を示します。

【シャッター開口サイズ】

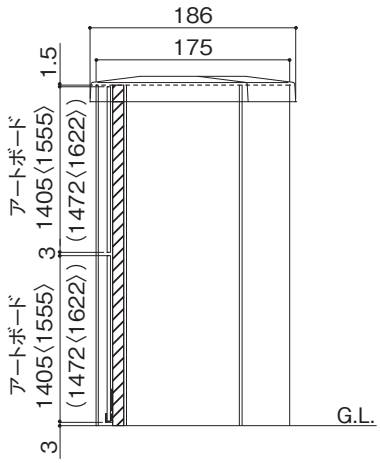
		幅（W）		高さ（H）	
1台用		W29	2860	H23	2300
				H26	2600
2台用	アルミグリル	W51	5100	H23	2300
	ステンレスグリル	W56	5600		
	アルミハイリンク	W51	5090	H26	2600
	アルミスラット	W56	5590		

■サイドパネル ― アートボード納まり図

●横断面図

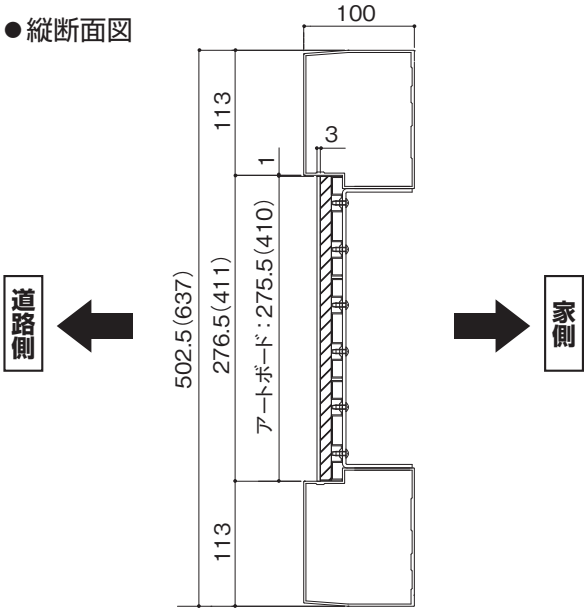


●A-A断面図



■センターパネル ― アートボード納まり図

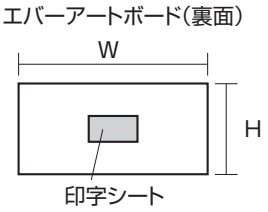
●縦断面図



部品の確認

※開梱時に品物が揃っているか確認してください。
※万一欠品などございましたら、お買い上げの販売店・最寄りの営業所までお申し付けください。

※Wが横方向、Hが縦方向になるように貼り付けます。
※各エバーアートボードの裏面には
「貼付NO.」(数字、アルファベット)が印字された
シートを貼り付けています。

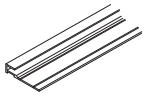


■1台用(W:29、H:23、26)

◆エバーアートボード

貼付No.	W(mm)	H(mm)		枚 数
		H:23	H:26	
①	1432.5	275.5		2
②	234	1405	1555	4

◆見切材

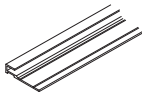
名 称	姿図	L(mm)	枚 数
見切材		234	2

■2台用(W:51、56、H:23、26)

◆エバーアートボード

貼付No.	W(mm)		H(mm)		枚 数	
	W:51	W:56	H:23	H:26	W:51	W:56
①	1700.5	1400	410		3	4
②	234		1472	1622	4	

◆見切材

名 称	姿図	L(mm)	枚 数
見切材		234	2

■その他必要製品

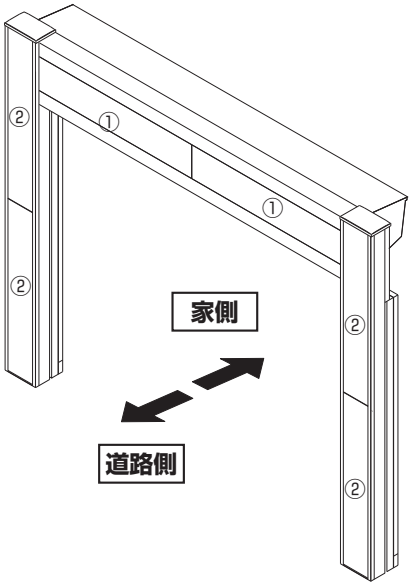
※下記製品を別途手配してください。施工に必要になります。

		1台用	2台用
アートボード用弾性接着剤	セメダイン PM165-R(333㎖)	2本	3本
アートボード用 両面テープ	20×1.1×10m	1本	2本
アートボード POSシール	POSシール(333㎖)	1本	1本

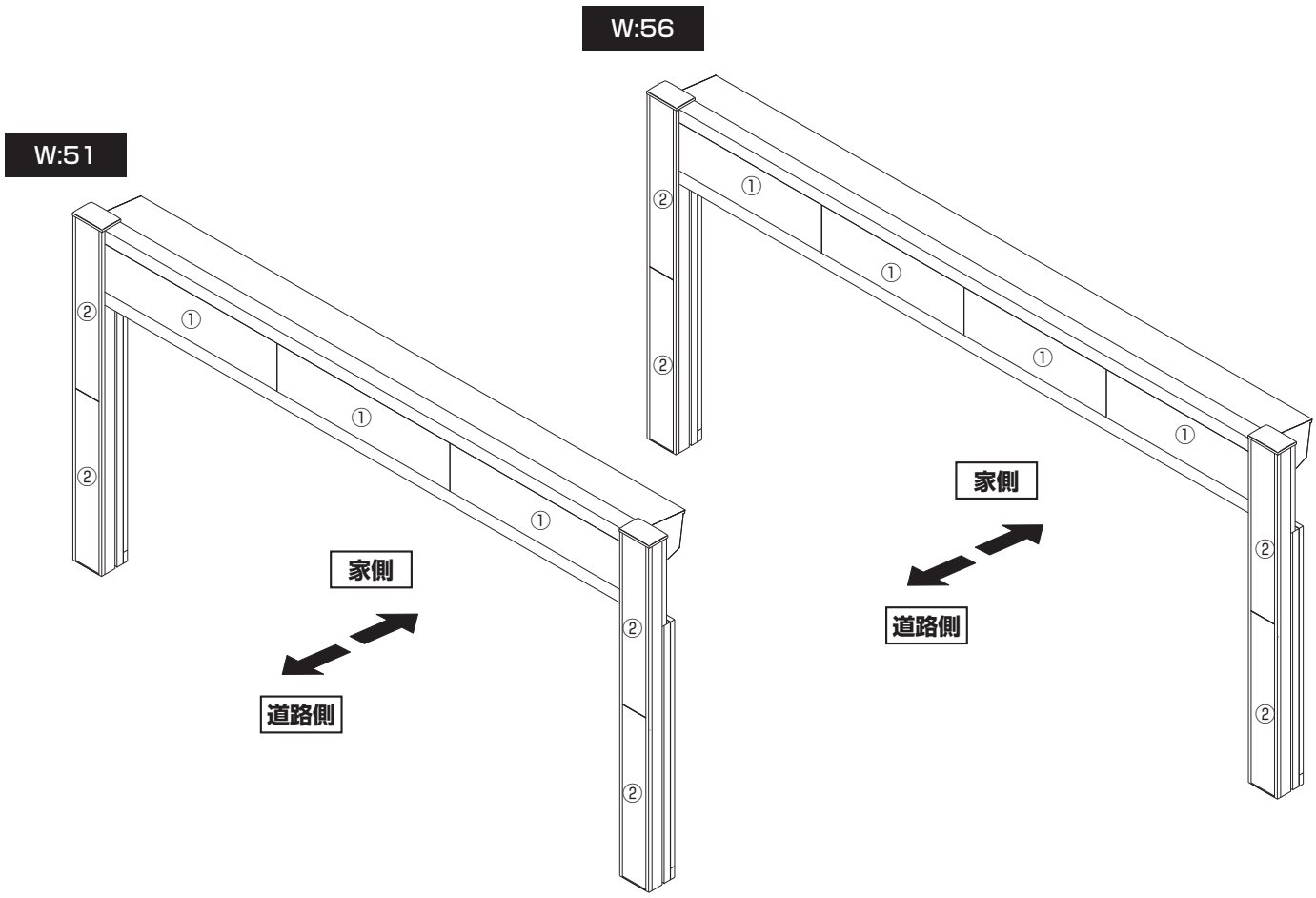
エバーアートボード 割付図

※割付位置は左右対称になります。
※各エバーアートボードの裏面には「貼付NO.」（数字、アルファベット）が印字されたシートを貼り付けています。
※数字、アルファベットが表示されている位置に各エバーアートボードがそれぞれ納まります。

■1台用（W：29、H：23、26）

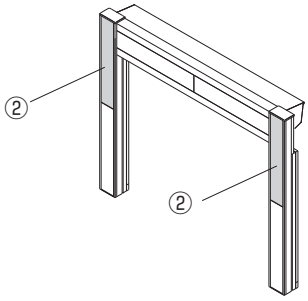


■2台用（W：51、56、H：23、26）



組立・施工

❶ サイドパネル(上部)の貼り付け



1)サイドパネル上部の下地パネルへ、**仮留めテープ**と**接着剤**を塗布します。
このとき、右記の**【アートボード②のH寸法】**を参照し、**アートボード「②」**1枚分のH長さに塗布します。

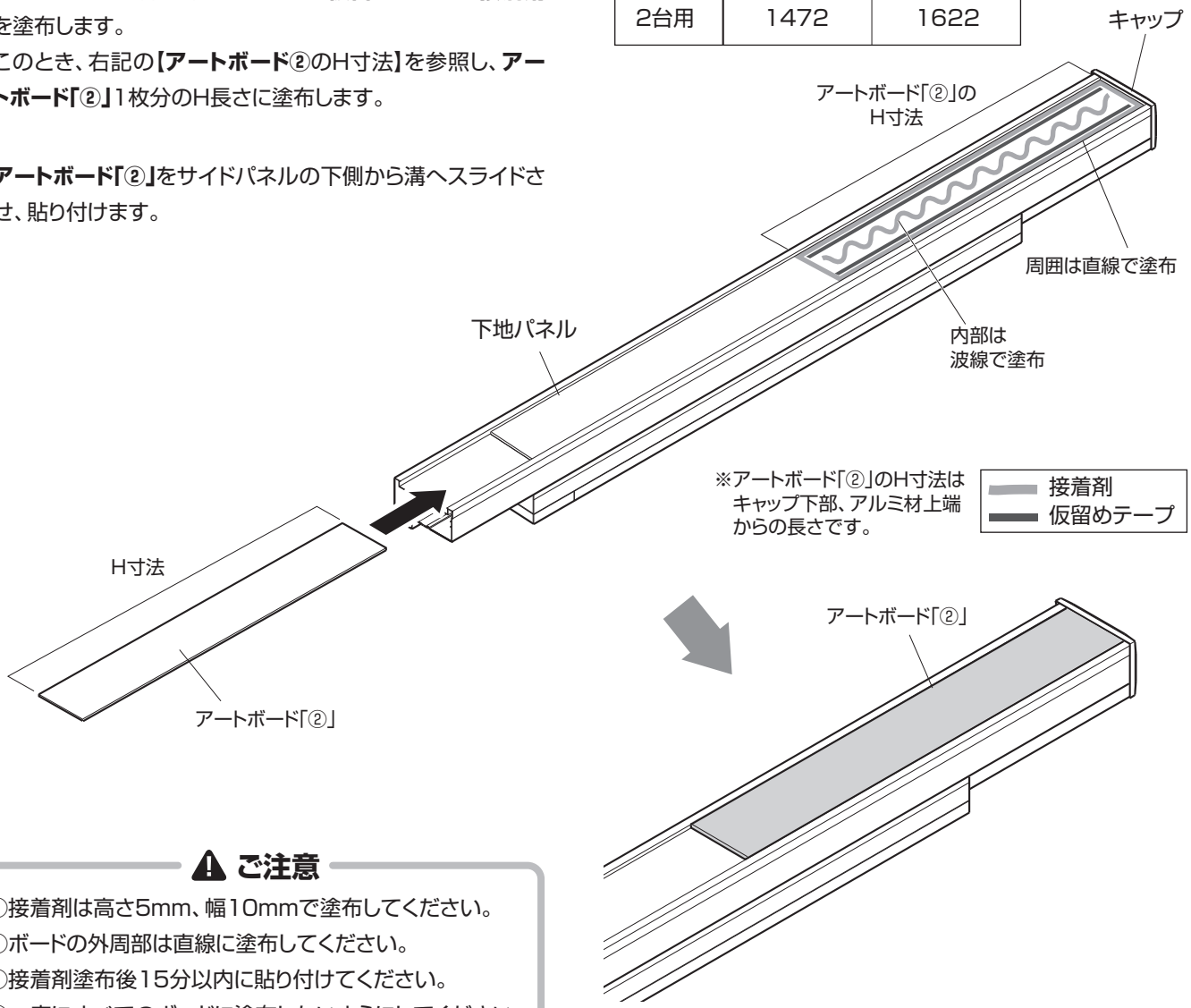
2)**アートボード「②」**をサイドパネルの下側から溝へスライドさせ、貼り付けます。

⚠ ご注意

三和シヤッター サンゲートN型取付説明書 P.9にある
サイドパネルの設置の前に、エバーアートボードおよび見切材の取り付けを行います。
シャッターのサイドパネル埋設前※に、本組立・施工を実施してください。
※本取扱説明書では埋設前の施工方法を記しますが、埋設後でも取り付けは可能です。

【アートボード②のH寸法】

	H寸法	
	H:23	H:26
1台用	1405	1555
2台用	1472	1622



⚠ ご注意

○接着剤は高さ5mm、幅10mmで塗布してください。
○ボードの外周部は直線に塗布してください。
○接着剤塗布後15分以内に貼り付けてください。
○一度にすべてのボードに塗布しないようにしてください。

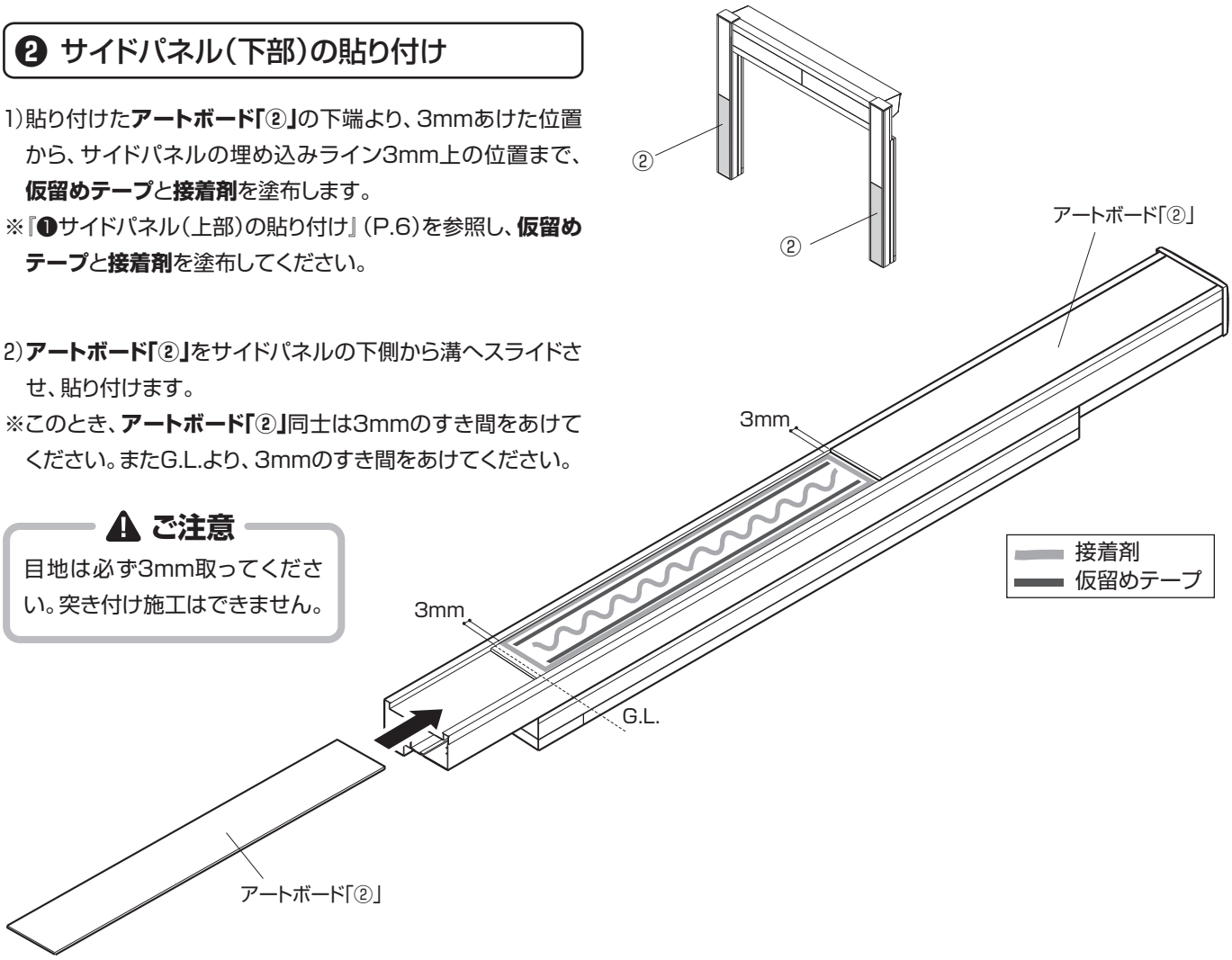
組立・施工

❷ サイドパネル(下部)の貼り付け

1)貼り付けた**アートボード「②」**の下端より、3mmあけた位置から、サイドパネルの埋め込みライン3mm上の位置まで、**仮留めテープ**と**接着剤**を塗布します。
※『❶サイドパネル(上部)の貼り付け』(P.6)を参照し、**仮留めテープ**と**接着剤**を塗布してください。

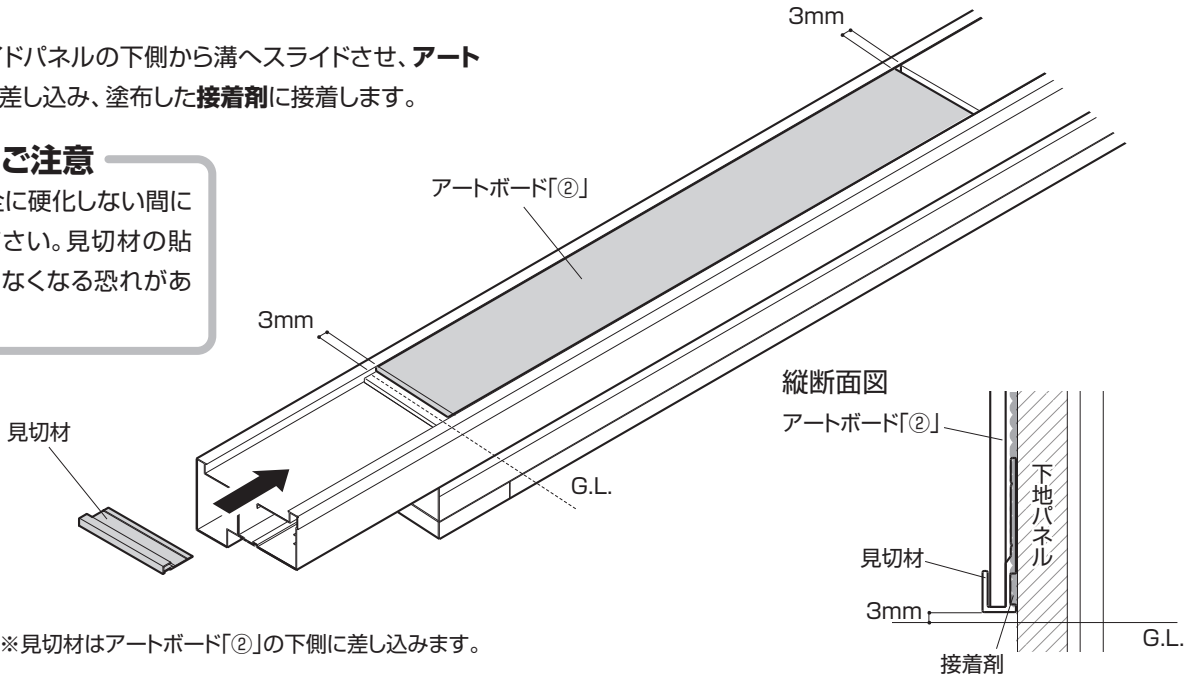
2)**アートボード「②」**をサイドパネルの下側から溝へスライドさせ、貼り付けます。
※このとき、**アートボード「②」**同士は3mmのすき間をあけてください。またG.L.より、3mmのすき間をあけてください。

⚠ ご注意
目地は必ず3mm取ってください。突き付け施工はできません。



3)**見切材**をサイドパネルの下側から溝へスライドさせ、**アートボード「②」**に差し込み、塗布した**接着剤**に接着します。

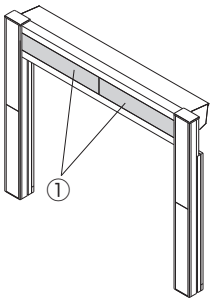
⚠ ご注意
接着剤が完全に硬化しない間に施工してください。見切材の貼り付けができなくなる恐れがあります。

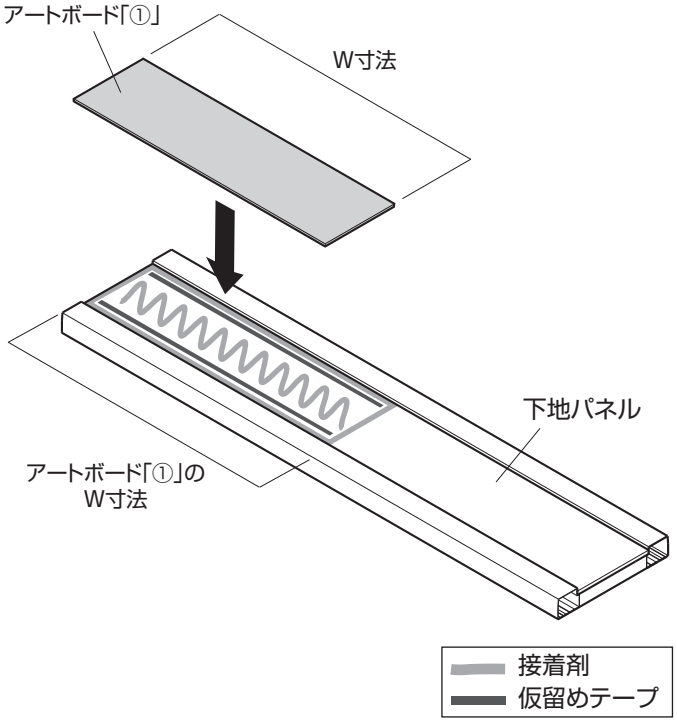


※見切材はアートボード「②」の下側に差し込みます。

組立・施工

❸ センターパネルの貼り付け



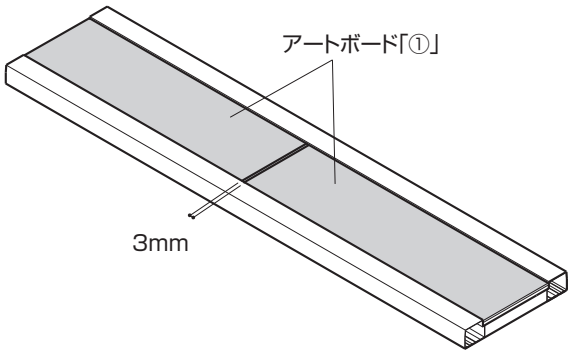


1)センターパネルの下地パネルへ、**仮留めテープ**と**接着剤**を塗布します。このとき、下記の**【アートボード①のW寸法】**を参照し、**アートボード「①」**1枚分のW長さに塗布してます。
※『❶サイドパネル(上部)の貼り付け』(P.6)を参照し、**仮留めテープ**と**接着剤**を塗布してください。

【アートボード①のW寸法】

	W寸法	
1台用	1432.5	
2台用	W:51	W:56
	1700.5	1400

2)**アートボード「①」**を貼り付けます。



3)貼り付けた**アートボード「①」**から3mmあけた位置に、**仮留めテープ**と**接着剤**を塗布します。**アートボード「①」**を貼り付けます。
※このとき、**アートボード「①」**同士は3mmのすき間をあけてください。

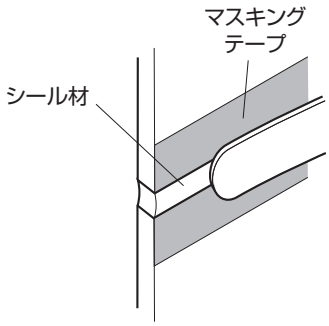
❹ シール処理

※**アートボード**の3mmの目地部分全てにシールを打ちます

1)**アートボード**の端部をマスキングテープ(現場手配)で養生し、シールを打ちます。

2)余分なシール材を、シールを打つヘラ等でかき取ります。

3)シール材が硬化した後、マスキングテープを取り除きます。



エバーアートボード シャッターゲートR型 特長

住まいとカラーコーディネートができます

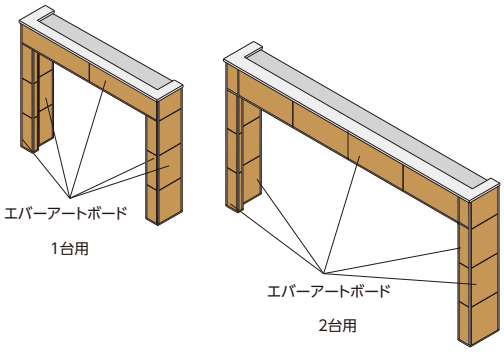
写真はイメージ（エバーアートボード：トラバーチン、フレーム：ステンカラー）

お好みのカラーを選べるから 住まいとトータルコーディネートできる

01 エバーアートボードによる化粧が 全面に入ります

シャッター枠の前、側面、裏面すべてにエバーアートボードが入ります。エバーアートボードが入る部分の壁面は「下地ボード」仕様で、現場ですでにカットされたボードを貼る施工になります

下地ボード
炭酸カルシウム発泡板



02 エバーアートボードのカラーは 全10色から選べます

ダークパイン　ブラウンエボニー　ホワイトパイン　京町家かきちゃ　ラスティコッパー　トラバーチン

RC杉板　ウォールナット　チャコールグレー　オーガンウッド ナチュラル

その他のカラーについては、別注対応可能です

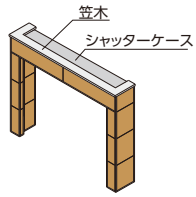
※発注には「オーダーシート」(P.1454)を使用してください

エバーアートボード
シャッターゲートR型

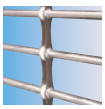
この商品は、エバーアートボードおよび下記のエバーアートボード取付部品を除き、三和シャッター工業株式会社が製造しています。

笠木、シャッターケースは2色から選べます

マロンブラック、ステンカラーの2色をご用意しました。



シャッターは4種類あります

		アルミグリル	ステンレスグリル	アルミハイリンク	アルミスラット
シャッタータイプ					
パイプ径	1台用	φ13mm	φ13mm	φ13mm	—
	2台用	φ16mm	φ16mm	φ16mm	—
シャッター材質		アルミ	ステンレススチール	アルミ	アルミ
スラットカラー		—	—	マロンブラック　ブロンズ	ステンカラー

※アルミハイリンクシャッターは、下から約1mまでがアルミスラットになります
※凍結のおそれがある地域では、アルミハイリンクシャッター、アルミスラットシャッターの採用はお控えください

シャッターは電動式です

シャッターは便利な電動式です。

1台用

2台用

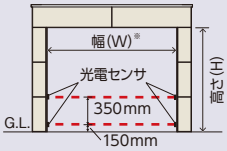
電動式標準機能

リモコン

車に乗ったままシャッターを開閉できるので雨の日などは特に便利です。受信アンテナはゲートに内蔵し、意匠性を高めています。

障害物検知装置【電池交換不要】

非接触型の障害物検知装置(光電センサ)を2カ所に設置。シャッター下降中に光線が遮られると0.5秒間反転上昇し、停止します。



タイプ＼サイズ(mm)		定番サイズ 幅(W)※		高さ(H)		別注範囲 幅(W)※	高さ(H)
1台用		W29	2860	H23	2300	2000～2860	1800～2600
				H26	2600		
2台用	アルミグリル ステンレスグリル	W51	5100	H23	2300	4500～5600	1800～2600
		W56	5600				
	アルミハイリンク アルミスラット	W51	5090	H26	2600	4490～5590	
		W56	5590				

※幅はシャッター開口幅を記します

エバーアートボード シャッターゲートR型

ユニット　アルミ　別注可　受注生産　NEW

■エバーアートボード　シャッターゲートR型

タイプ	サイズ 幅(W)	高さ(H)	シャッターデザイン アルミグリル	ステンレスグリル	アルミハイリンク	アルミスラット
1台用	2860	2300	¥1,733,000	¥1,733,000	¥1,738,000	¥1,738,000
		2600	¥2,003,000	¥2,003,000	¥2,008,000	¥2,008,000
2台用	5100	2300	¥2,543,000	¥2,543,000	¥2,940,000	¥2,824,000
		2600	¥2,812,000	¥2,812,000	¥3,260,000	—
	5600	2300	¥2,770,000	¥2,770,000	¥3,208,000	—
		2600	¥3,056,000	¥3,056,000	¥3,551,000	—

※フレーム色、シャッターボックスの色を指定してください(マロンブラック、ステンカラー)
※アルミハイリンクおよびアルミスラットは、色を指定してください
(マロンブラック、ブロンズ、ステンカラー)
※エバーアートボードの色を指定してください
※シャッターゲート本体(ゲート+シャッター本体)の運送費および工事費は含みません
※エバーアートボード施工用の接着剤、両面テープ、シーリング材の価格は含みません

■エバーアートボード　取付部品

品　名	価　格	必要数 1台用	2台用
エバーアートボード用接着剤 PM165-R(333mℓ)	¥2,500/本	6本	8本
エバーアートボード用両面テープ 20×1.1×10m	¥1,000/個	5個	7個
エバーアートボードPOSシール (333mℓ)	¥2,500/本	2本	3本
合計		¥25,000	¥34,500

※詳しくはエバーアートボード部材 取付部材(P.74)をご確認ください

使用区分		単体1台用	単体2台用	
使用電源		AC100V(50/60Hz 単相)	AC100V(50/60Hz 単相)	
開閉機	型式	SA6C35R-G	SB10D-35R-18S	SB20D-35R-2S
	出力	40W	130W	200W
	定格電流	1.9A(50Hz) 1.8A(60Hz)	2.8A(50Hz) 2.6A(60Hz)	3.8A(50Hz) 4.6A(60Hz)
	定格時間	5分	5分	6分
消費電力	待機時	9W(50/60Hz)	10W(50/60Hz)	
	動作時	162.5W(50Hz) 175W(60Hz)	300W (50/60Hz)	400W(50Hz) 500W(60Hz)
開閉時間(H=2300)		31秒(50Hz) 26秒(60Hz)	20秒(50Hz) 17秒(60Hz)	
リモコン	数量	2個	3個	
	送信距離	最長到達距離(標準値)40～80m	最長到達距離(標準値)40～80m	
	使用電池	CR2032型リチウム電池(3V)1個	CR2032型リチウム電池(3V)1個	
設計耐用年数と回数(シャッター部)		設計耐用年数は10年。設計耐用回数は1万回開閉。使用環境・頻度、点検、お手入れなどの状況により、記載数値を満たさない場合があります。		
環境条件		周囲温度:−10～+40℃(凍結の恐れのある地域は除きます) 周囲湿度:RH85%以下 沿岸部、化学工場などの腐食性環境及び粉塵発生環境を除きます。		

※消費電力にオプション(照明など)の消費電力は含んでいません
※リモコンの送信距離は、地形・建物・環境などの条件により双方に大きく変化します

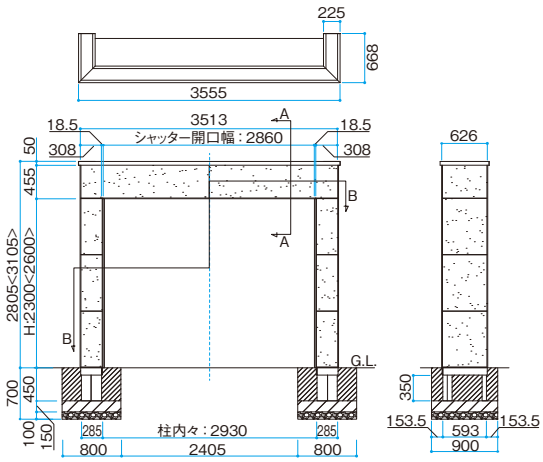
エバーアートボードなしのシャッターゲートのみの販売も可能です。価格、詳細については別途お問い合わせください。

●表示価格には消費税および組立費、施工費等は含まれておりません。

エバーアートボード P.36　エバーアートボード部材 P.74　オーダーシート P.1454

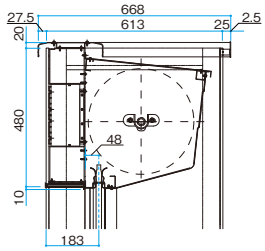
■ エバーアートボード シャッターゲートR型

1台用

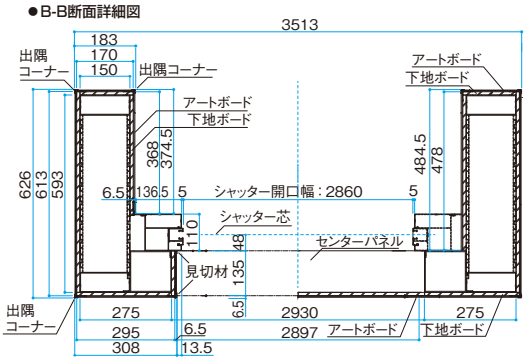


※本図はサイズW2860、H2300とする
※< >内寸法はサイズH2600を示す

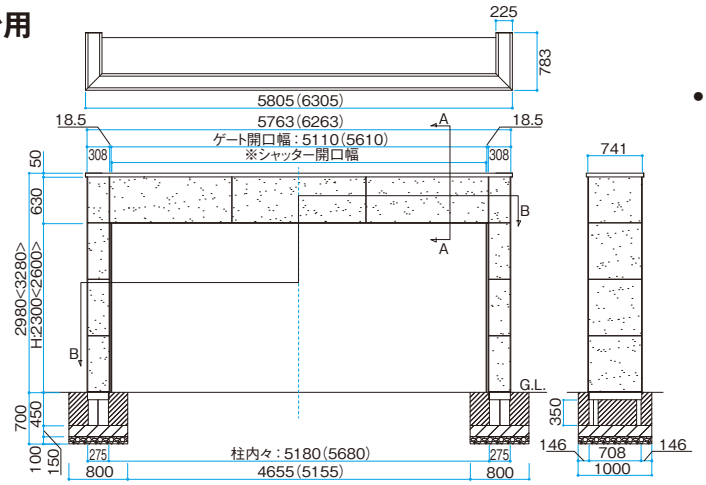
●A-A断面詳細図



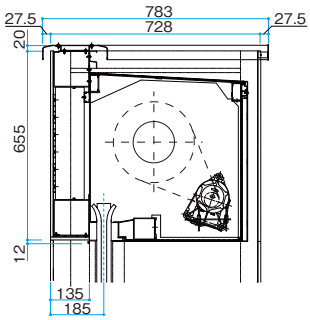
●B-B断面詳細図



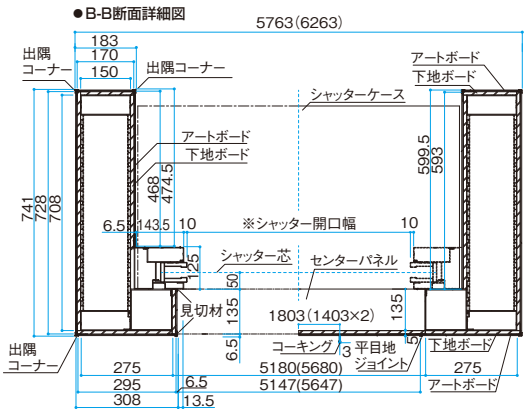
2台用



●A-A断面詳細図



●B-B断面詳細図



※本図はサイズW5100,H2300とする
※< >内寸法はサイズH2600を示す
※(　)内寸法はサイズW5600を示す

シャッター開口幅　　単位：mm

シャッター	アルミグリル	ステンレスグリル	アルミハイリンク	アルミスラット
シャッター開口幅	5100 (5600)		5090 (5590)	

エバーアートボード P.36
オーダーシート P.1454

Takasho

T-2612160

BME-0063

組立・施工・取扱説明書

お客様保管用

エバーアートボード シャッターゲートR型

このたびは、当社商品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。この商品を安全に正しく施工していただくため、この「組立・施工・取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。

安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は安全に関する最も重要な内容です。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解して本文をお読みください。また、本説明書および当社カタログに記載されている内容に反する施工やご使用をされた場合、保証対象外となります。

安全記号	
⚠ 警告	●取り扱いを誤った場合、使用者が死亡もしくは重傷を負う可能性がある危険度が「高い」内容を示しています。
⚠ 注意	●取り扱いを誤った場合、使用者が中、軽傷を負う可能性がある内容、または物的損害の可能性があり危険度が「中、軽い」内容を示しています。
一般記号	
ポイント	●組み立て、施工手順で、特に注意して作業を進める必要がある内容を示しています。 ●注意して守っていただかないと、組み立て、施工が困難、あるいは強度不足のため、施工後不具合が発生する可能性がある内容を示しています。

組立・施工上のご注意

⚠ 警告

●風の強い場所、積雪の多い地域や地盤の弱い場所での施工には、控え柱等の補強が必要です。特に柱の固定を確実に行ってください。転倒など事故の原因となります。
●屋上やがけの上など、商品が落下した場合にケガをする可能性のある高所には設置しないでください。
●取扱説明書に表示している基礎部の埋め込み深さは一般的な場合です。現場の地盤状態に合った基礎部の寸法(体積)にて施工し、安全を確保してください。
●施工時、コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)や、コンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)で塩素系や強アルカリ系のものは、絶対使用しないでください。使用すると、金属部分が腐食し、破損、倒壊の可能性があり危険です。

⚠ 注意

●組み立て、施工場所の整理整頓、適切な安全確保を行ってください。
高所作業での転落、工具、部品の落下や倒壊の防止、暗所作業時の照度の確保などを必ず行ってください。
●工具、器具、保護具(作業服、保護帽、安全靴、安全帯、その他作業者身体の保護具)などは、安全機能を十分に確認し、正しく使用してください。また不具合のあるものは使用しないでください。
●大型商品は、安全に組み立てるため、施工は2人以上で行ってください。
●組み立て、施工は正しく行わないと危険です。組み立て、施工前に必ず取扱説明書をお読みください。
●必ず取扱説明書に従って正しく施工してください。正しい順序で施工されなかった場合には、商品の強度など性能が低下するほか、倒壊につながる場合があります。
●梱包明細表で必要な部材、部品がすべて揃っているか確かめてから、組み立ててください。
●立てかけると変形の恐れがありますので、平らな場所に水平置きし、保管してください。
●エバーアートボードは、アルミとプラスチックの複合材です。割れにくい素材ですが、衝撃や異物の挟み込みにより、キズやへこみ、エッジの変形が生じる恐れがあります。運搬、保管、加工、施工時、取り扱いには注意してください。
●設置場所に正しく施工でき、不具合なく使用することができることを確認してください。
●給湯、暖房機などの熱排気が商品で妨げられ建物内部にこもったり、適切な換気ができなくなるような場所には設置しないでください。
●給湯、暖房機などの排気熱が直接商品に当たると被膜の劣化、はく離につながります。熱の影響のない場所に設置してください。
●通路など、通行の妨げになる場所には設置しないでください。
●給排水管などの地下埋設物に影響を与えないか位置を確認してから施工してください。
●高台、強風地域、特にがけの上、屋上、風の通り道などへの設置は避けてください。
●風の強い場所では、商品の周囲に十分な空間を確保してください。周囲を囲うと商品に予想以上の風圧がかかり、破損、倒壊の可能性があります。
●水はけの悪いと思われる場所には設置しないでください。
●常に水や温水に触れたり水没する場所、また温泉やそれに類する水質に触れたり水没したりする場所には設置しないでください。
●振動、衝撃のある場所には設置しないでください。商品の破損、倒壊につながります。
●大気中に強い酸やアルカリ成分が多く含まれる場所には設置しないでください。商品の性能が低下する可能性があります。
●アルミ製品は、鉄や銅など(ステンレス以外)の異種金属と直接接触すると、腐食する可能性があります。接触する場合は、ビニールテープを巻くか塗料を塗るなどの処理を行ってください。
●腐食成分(塩素イオンなど)を多く含んでいる輸入木材の併用は避けてください。もし使用される場合は、必ずアルミと接触する部分の木材に塗装するなどの処理を行ってください。
●商品が腐食する可能性のある接着剤や溶剤などの化学薬品に、接することがないように注意してください。
●取扱説明書に表示している基礎部の埋め込み深さは一般的な場合です。
現場の地盤状態に合った基礎部の寸法(基礎体積)にて施工し、安全を確保してください。
●土地の高低にかかわらず、柱の埋め込み深さを十分確保してください。
●組み立て、施工時は、商品にキズがつかないように十分注意してください。

組立・施工上のご注意

⚠ 注意

●組み立て、施工用のボルト、ビスは規定本数(当社指定純正品)を確実に締め付け、固定してください。
●エバーアートボードの面材はアルミを使用しています。湿潤状態で異種金属と接触すると、電位差により、電食が発生します。接合に使用するリベット、ボルト類の材質は、電食を考慮して選んでください。
●エバーアートボードの切断面は、大変危険です。加工、施工時は、保護手袋等を使用してください。
●商品にバリがある場合は取り除いてください。特に切り詰めなど現場加工の場合は必ず行ってください。
●組み立て、施工時に、雨水がたまらないように十分注意してください。
●商品の一点をハンマーで叩いたり、ハシゴをかけるなどして強い衝撃を与えますと破損事故の原因になりますので、絶対しないでください。
●商品を異なる材質のものに固定すると温度差により多少伸縮する場合があります。施工時に、商品に必ず大きめの穴をあけて固定してください。
●柱の水抜き穴は、モルタルなどで塞がないでください。
●組み立て、施工時、商品にコンクリート(またはモルタル)の抽出液が付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性のため、施工後シミ、ムラなどが発生し、外観不良の原因になります。付着した場合は、速やかに水を含ませた布などでふき取ってください。
●コンクリートは製品に記載されている配合率や注意事項に従って使用してください。養生期間(4～7日)は十分に確保し、養生期間中は重量物をのせたり、振動させたり、物を立てかけたりはしないでください。
●商品に雨水がたまらないように、適切な位置に水抜き穴をあけることをおすすめします。
●雨水等の浸入防止のために、必要な箇所には必ずシーリング材を充填してください。
●組み立て、施工終了後は、必ず商品が正しく組み立てられているか確認してください。特にボルト、ビスなどにゆるみがないか確認してください。
●組み立て、施工終了後は、施工時の汚れをきれいに取り除いてください。
●施工後の残材は他の一般廃棄物と区別し、素材別に分けた上で専門業者に処理を委託してください。
●構造物、建築物の屋根などからの雪の落下を受けない位置に設置してください。
●積雪のある地域では、雪により商品が倒壊しても危険がない場所に設置してください。
●凍上する可能性のある寒冷地に設置する場合は、必ず凍上線の下まで基礎部を確保するように施工してください。
●寒冷地でご使用になる場合は、柱に水抜き穴をあけて、柱用の穴に柱を立ててから、モルタルを入れてください。モルタルを入れてから柱を立てると、柱の内部に水がたまり、凍結破損の原因になることがあります。
●安全を確保するため、組み立て、施工は必ず専門の業者が行ってください。
●商品の改造は絶対にしないでください。商品の性能が落ち、強度不足による破損、倒壊の可能性があり危険です。
●誤った使用を避けるため、組み立て、施工終了後、必ず取扱説明書はお施主様にお渡しして、取り扱いの注意、メンテナンスについて説明してください。

使用上のご注意

⚠ 警告

●アルミ製品は、高温になる場所では他の金属材料に比べて熱による変形が生じやすい材料です。商品の近くで火気を使用しないでください。
●運動具やお子様の遊具、踏み台、ふとんや洗濯物を干す等、目的以外の使用は絶対にしないでください。

⚠ 注意

●商品の一点をハンマーで叩いたり、ハシゴをかけるなどして強い衝撃、荷重を与えると破損、倒壊事故の原因になります。絶対にしないでください。
●無理な荷重をかけないでください。商品の上で飛んだり、跳ねたりしないでください。ぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。人が乗ったり、体重をかけたりしないでください。

使用上のご注意

⚠ 注意

●局部的に重い物をのせたり、立てかけたり、ぶらさげたりしないでください。ボールなど投げつけたりしないでください。
●商品の付近で農薬や殺虫剤などの薬剤を使用する場合は、表面に付着しないようにしてください。表面が変色する恐れがあります。
●安全性の高い材料を使用しておりますが健康を害する恐れがありますので、小さなお子様やペットがなめたり、かじったりしないように注意してください。
●商品の切り口に切断時のバリが残っている場合や、現場加工にともないささくれが発生する場合があります。手などにケガをしないように、取り扱いには十分注意してください。発見した場合は放置せず、施工店様に連絡してください。
●商品を改造したり、穴をあけたり、当社オプション品、付属品以外の取り付けは避けてください。商品の性能が低下する可能性があり危険です。
●アルミ製品の表面にキズが付いたり、塗装はがれが生じると、商品の腐食や強度低下の原因になりますので、取り扱いには十分注意してください。
●エバーアートボードの熱変形温度は約110℃で、ポリエチレン単体より高くなっています。大きな力がかからない状態で、短時間であれば、100℃程度の高温にも耐えられます。ただし、実用上、高温雰囲気で長時間使用する場合は、70℃程度までで使用してください。
●エバーアートボードの面材はアルミを使用しているため、アルミ単板と同様に、腐食が生じます。酸性やアルカリ性の物質(土やモルタル等)に直接接触しないようにしてください。
●エバーアートボードの端部が、アルミを侵す環境(海岸部等)におかれる場合は、注意して使用してください。
●強い雨の場合、雨水が浸入する可能性がありますので注意してください。
●安全のため、定期的に接合部のボルト、ナット、ビス等にゆるみがないか確認して使用してください。ゆるみがあれば締め直しを行ってください。お施主様でできない場合は施工店様に依頼し必ず直してください。
●商品が破損したり、グラつく場合は、すぐに施工店様に連絡してください。破損したままで使用していると事故の原因となり危険です。

メンテナンスのご注意

◆汚れの程度と掃除方法

内　容	用　具	方　法
軽い汚れの場合	柔らかい布 スポンジ 水	柔らかい布、スポンジで水ぶきした後、からぶきしてください。
ひどい汚れの場合	柔らかい布 中性洗剤	中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いしてください。 その後、からぶきしてください。

◆お手入れのご注意

●お手入れには布やスポンジなどの柔らかいものを使用してください。
●金属ブラシ、金ベラ、スチールウール、目のあらい紙ヤスリなどは使用しないでください。
●小石、砂などが付着したままこすると、アルミ表面にキズが付きます。あらかじめ取り除いてください。
●酸性およびアルカリ洗剤、アルコール、ベンジン、アセトンなどの有機溶剤や石油類などは使用しないでください。アルミの腐食、塗膜のはがれ、ツヤ落ちの原因になります。
●市販のクリーナーは、成分をよくチェックし、事前に目立たない部分に使用し、塗膜の変化や軟化等がないか確認してください。
●安全のため、定期的にガタツキがないか確認してご使用ください。
●工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
●定期的なお手入れにより、アルミ製品をいつまでも美しく保つことができます。

廃棄について

ご不要になった商品、また現場で発生しました残材等につきましては、各地域の条例等に従って正しく処分してください。

組立・施工の前に

三和シヤッター サンゲートR型(下地パネルタイプ)の取付説明書を必ず併せて確認してください。
※数字およびアルファベットは、エバーアートボードおよび見切材のそれぞれの貼付No.を示します。　※( )寸法は2台用を示します。

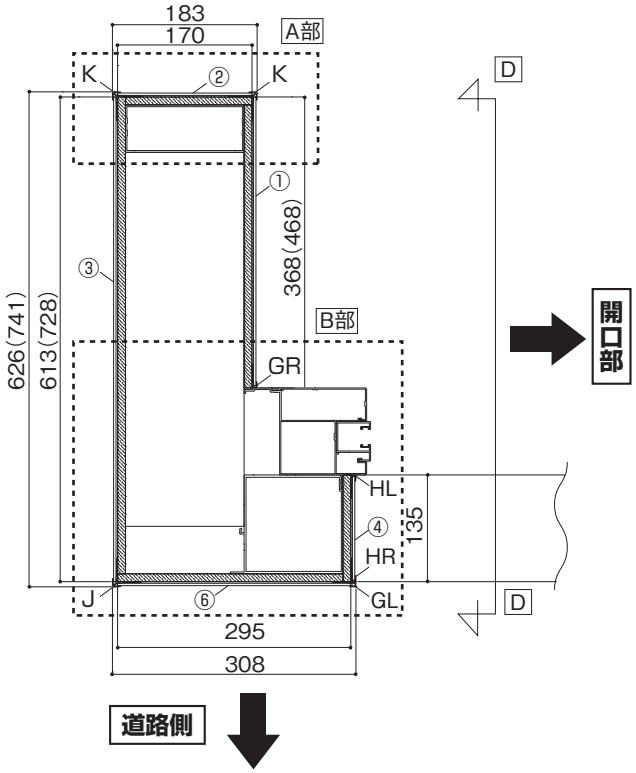
【シャッター開口サイズ】

		幅(W)		高さ(H)	
1台用		W29	2860	H23	2300
				H26	2600
2台用	アルミグリル ステンレスグリル	W51	5100	H23	2300
		W56	5600		
	アルミハイリンク アルミスラット	W51	5090	H26	2600
		W56	5590		

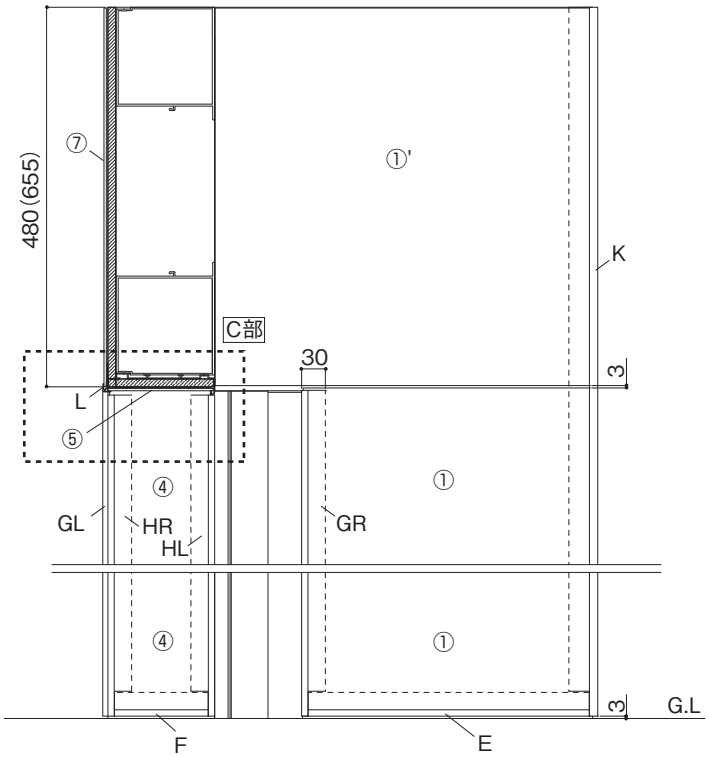
基本寸法

■断面図

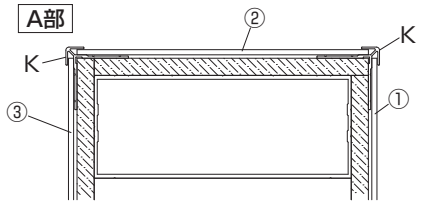
サイドパネル横断面図

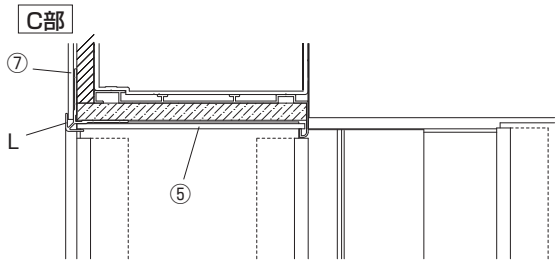


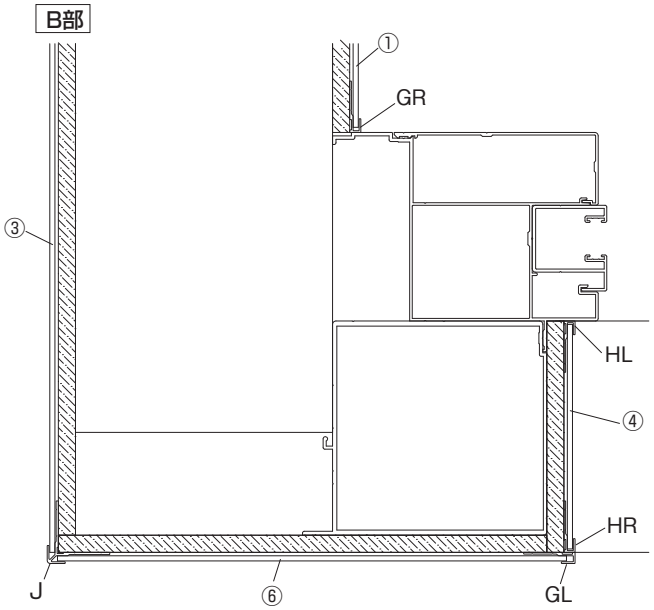
D-D断面図



■拡大図



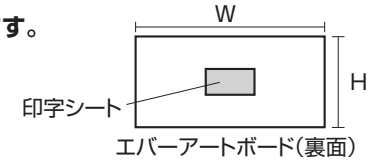




部品の確認

※開梱時に品物が揃っているか確認してください。
※万一欠品などございましたら、お買い上げの販売店・最寄りの営業所までお申し付けください。

※Wが横方向、Hが縦方向になるように貼り付けます。
※各エバーアートボード、および見切材の裏面には「貼付NO.」(数字、アルファベット)が印字されたシートを貼り付けています。

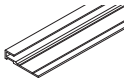
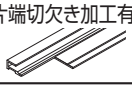
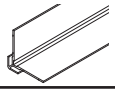


■1台用(W:29、H:23、26)

◆エバーアートボード

貼付No.	W(mm)	H(mm) H:23	H:26	枚数
①	366	764.5	864.5	6
①'	476.5	478.5		2
②	170	764.5	864.5	6
②'	170	478.5		2
③	613	764.5	864.5	6
③'	613	478.5		2
④	127.5	764.5	864.5	6
⑤	1447.5	133		2
⑥	297	764.5	864.5	6
⑦	1749	478.5		2

◆見切材

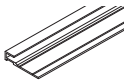
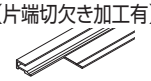
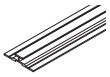
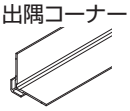
名称	貼付No.	L(mm) H:23	H:26	枚数
水切材 	B	289		2
	C	604.5		2
	D	161.5		2
	E	355.5		2
	F	118.5		2
見切材(片端切欠き加工有) 	GR、GL	2297.5	2597.5	各2
	HR、HL	2291.5	2591.5	各2
平目地	AR、AL	297.5		各1
出隅コーナー 	J	2782	3082	2
	K	2782	3082	4
	L	2896		1

■2台用(W:51、56、H:23、26)

◆エバーアートボード

貼付No.	W(mm) W:51	W:56	H(mm) H:23	H:26	枚数 W:51	W:56
①	466		764.5	864.5	6	
①'	591		652.5		2	
②	170		764.5	864.5	6	
②'	170		652.5		2	
③	728		764.5	864.5	6	
③'	728		652.5		2	
④	127.5		764.5	864.5	6	
⑤	1661	1409.5	133		2	4
⑤'	1820	—	133		1	—
⑥	297		764.5	864.5	6	
⑥'	297		652.5		2	
⑦	1663	1410.5	655		2	4
⑦'	1820	—	655		1	—

◆見切材

名称	貼付No.	L(mm)		枚数
水切材 	B	289		2
	C	719.5		2
	D	161.5		2
	E	455.5		2
	F	118.5		2
見切材(片端切欠き加工有) 	GR、GL	H:23 2301	H:26 2601	各2
	HR、HL	2289.5	2589.5	各2
平目地 	AR、AL	656		各1
出隅コーナー 	K	H:23 2957	H:26 3257	6
	L	W:51 2572.5	W:56 2822.5	2

■その他必要製品

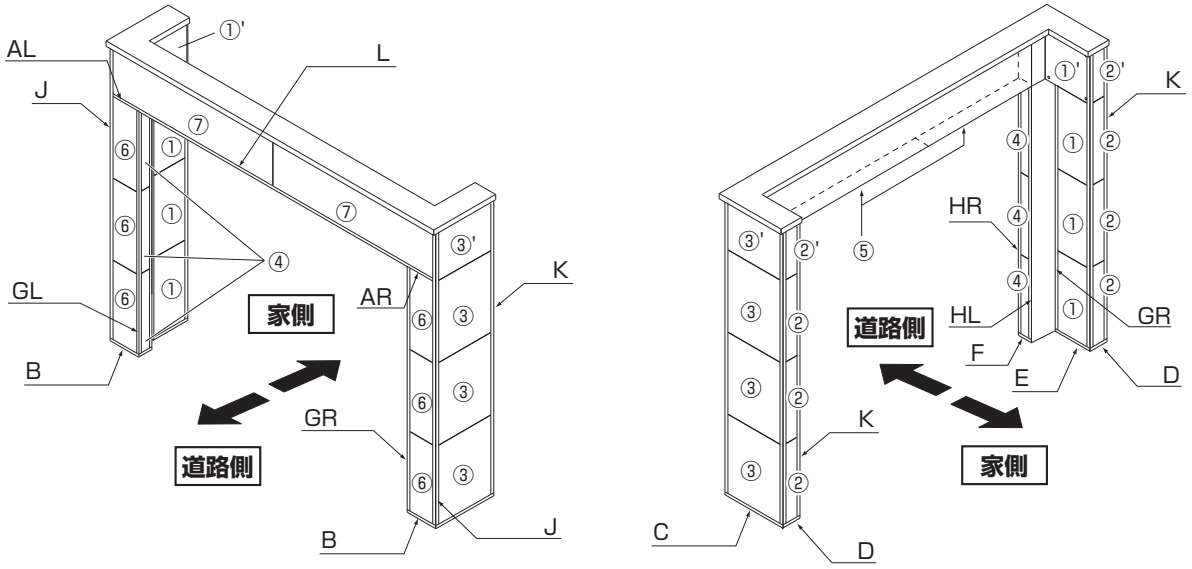
※下記製品を別途手配してください。施工に必要になります。

		1台用	2台用
アートボード用弾性接着剤	セメダイン PM165-R(333mℓ)	6本	8本
アートボード用 両面テープ	20×1.1×10m	5本	7本
アートボード POSシール	POSシール(333mℓ)	2本	3本

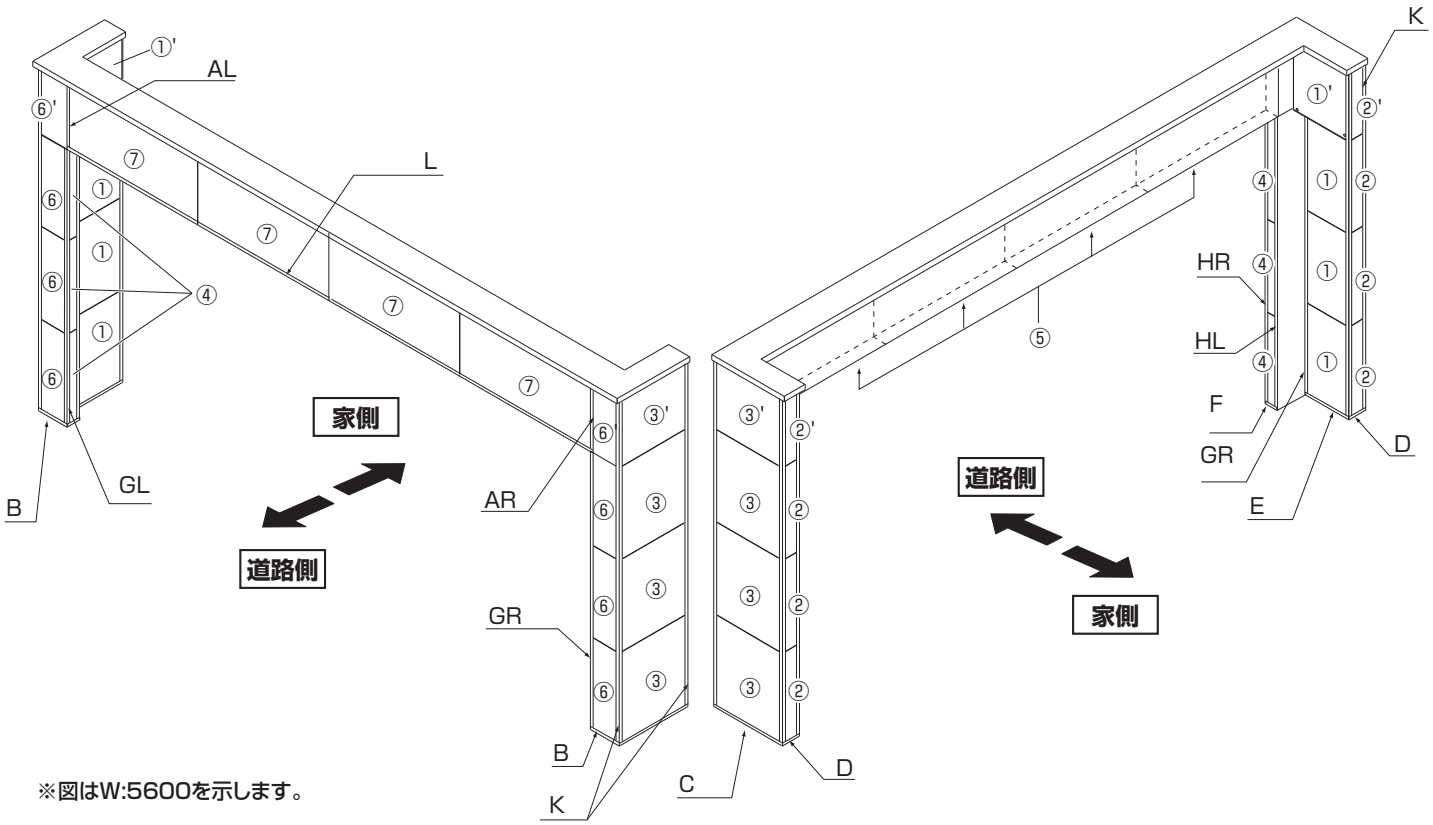
エバーアートボード 見切材 割付図

※割付位置は左右対称になります。
※各エバーアートボード、および見切材の裏面には「貼付NO.」（数字、アルファベット）が印字されたシートを貼り付けています。
※数字、アルファベットが表示されている位置に、各エバーアートボードおよび見切材がそれぞれ納まります。

■1台用（W：29、H：23、26）



■2台用（W：51、56、H：23、26）



※図はW:5600を示します。

組立・施工

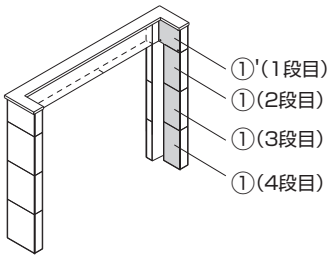
三和シヤッター「サンゲートR型」（下地パネルタイプ）取扱説明書9ページ「■基礎コンクリートの施工」まで必ず施工してください。

※取付図は外観左側サイドパネルを示しています。同作業を外観右側のサイドパネルにも行ってください。

アートボードと見切材の貼り付け

5ページ「エバーアートボード、見切材 割付図」を参照して、貼付No.①～⑦までのアートボードを順番に、シャッターゲートの各面ごとに貼り付けてください。合わせて、見切材も取り付けてください。

①の面（サイドパネル内側、家側）の貼り付け



1）下地パネルの、**アートボード「①」**（4段目）貼り付け箇所に、**仮留めテープ**と**接着剤**を塗布します。合わせて、レールカバー側上端まで**接着剤**を塗布します。【図Ⓐ】

※水切材取り付けのため、柱埋め込み部から3mm、すき間を開けてください。

※出隅コーナー取り付けのため、コーナー部縦方向30mm以上あけて、**仮留めテープ**を貼り付けてください。

⚠ ご注意

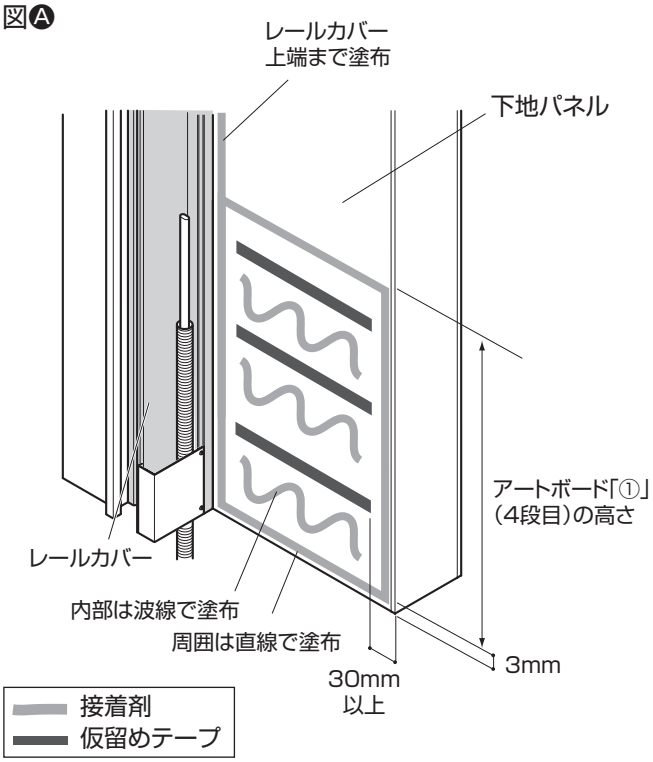
○接着剤は高さ5mm、幅10mmで塗布してください。
○ボードの外周部は直線に塗布してください。
○接着剤塗布後15分以内に貼り付けてください。
○一度にすべてのボードに塗布しないようにしてください。

2）**水切材「E」**をG.L.より3mmあけて、取り付けます。**見切材「GR」**を切欠加工部を下側にしてレールカバーに沿って、取り付けます。【図Ⓑ】

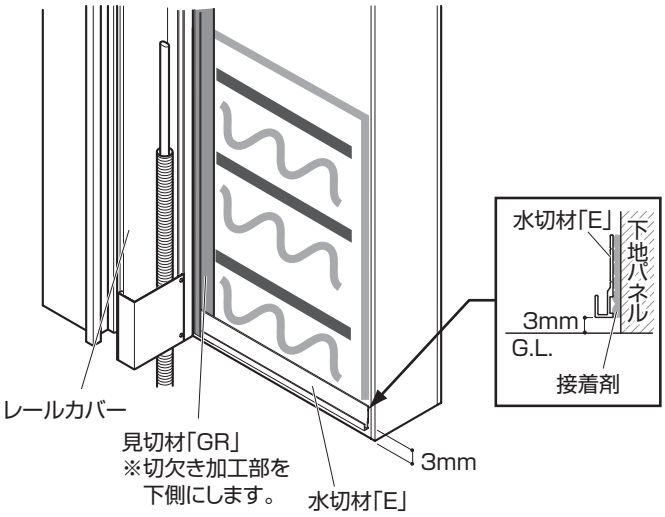
⚠ ご注意

○アートボード貼付No.の数字の順番通りに施工を行わない場合、貼り付けができなくなる場合があります。
○貼り付け箇所No.「①」～「⑦」の各面ごとに区切り、接着剤が完全に硬化しない間で施工してください。見切材の貼り付けができなくなる場合があります。

図Ⓐ



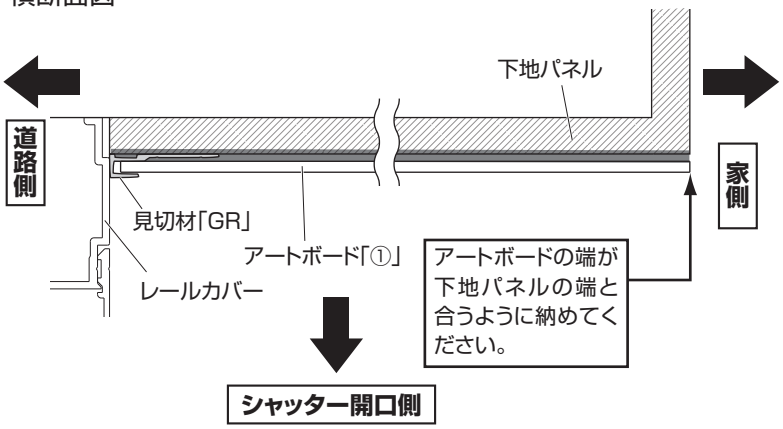
図Ⓑ



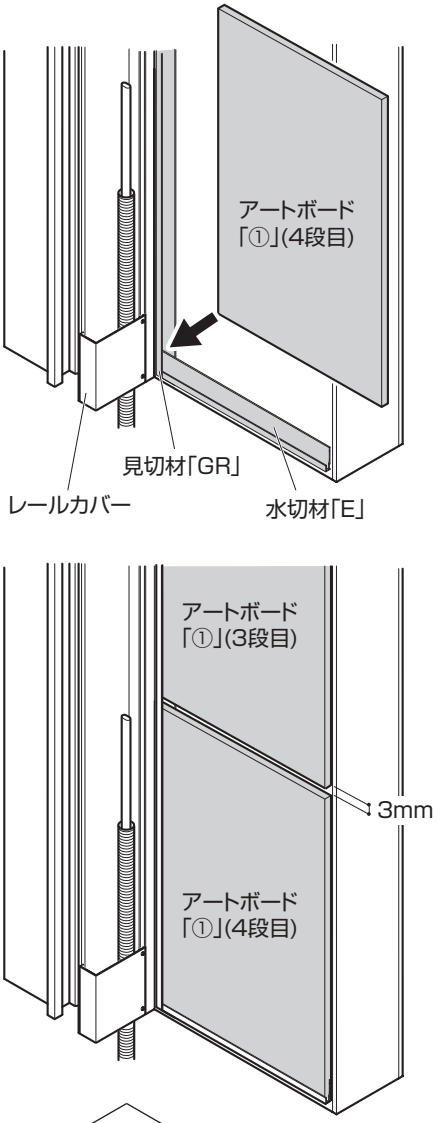
組立・施工

3)**水切材E**と**見切材GR**の溝に、**アートボード「①」**(4段目)を差し込み、貼り付けます。【図Ⓒ】

横断面図



図Ⓒ



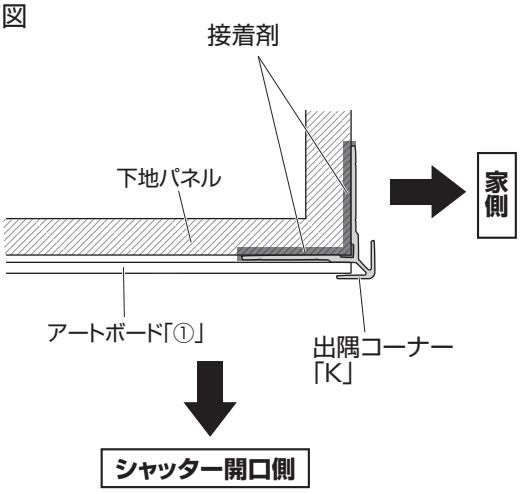
4)3段目、2段目、1段目も同様に、**仮留めテープ**と**接着剤**を塗布し、**アートボード「①」「①'」**を貼り付けます。【図Ⓓ】
※下段の**アートボード「①」**と3mm、すき間を開けてください。
※1枚分ずつ貼り付けてください。

⚠ ご注意

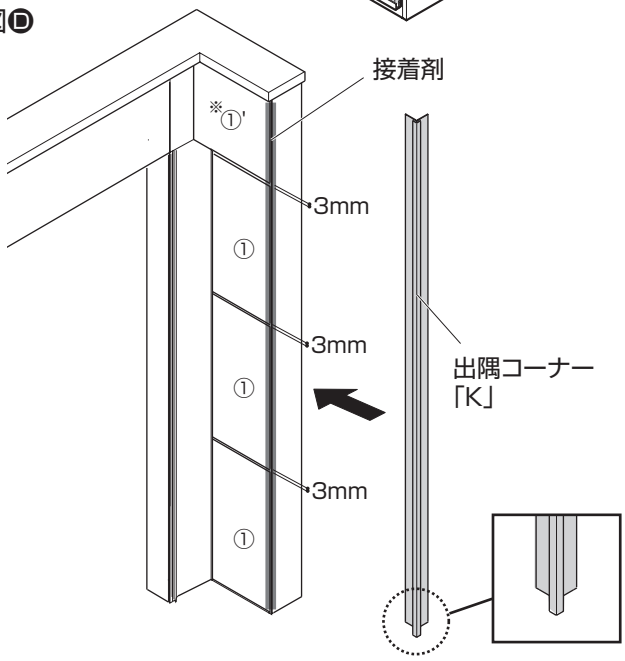
目地は必ず3mm取ってください。突きつけ施工はできません。

5)コーナーに**接着剤**を塗布します。**出隅コーナー「K」**を切欠き加工部を下にして、**アートボード「①」**の下側に横から差し込み、貼り付けます。【図Ⓓ】

横断面図



図Ⓓ

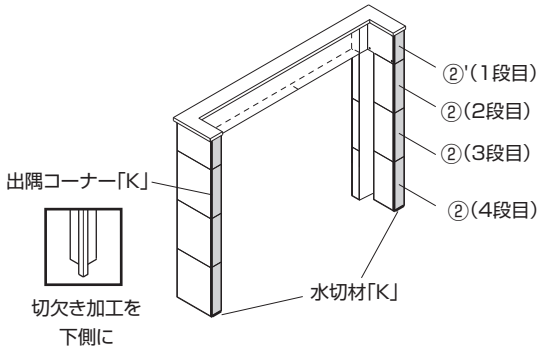


※2台用は、**アートボード「①'」**のセンターに、シャッター施工用の孔加工がされています。シャッター施工後、孔部分は隠れます。

組立・施工

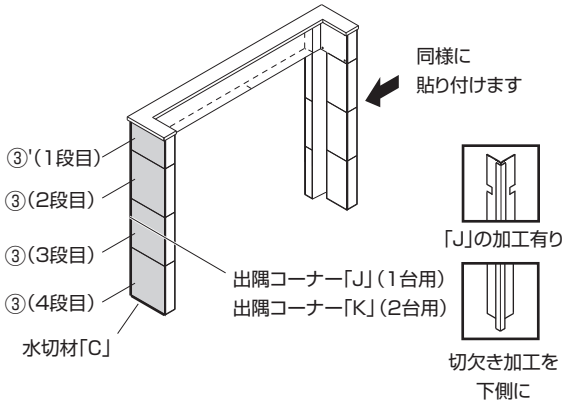
②の面（サイドパネル家側）の貼り付け

『①の面（サイドパネル内側、家側）の貼り付け』（P.6、7）と同様の手順で、**水切材「D」➡アートボード「②」「②'」➡出隅コーナー「K」**の順で貼り付けます。
※必ず割付図（P.5）の「貼付No.」を確認してください。

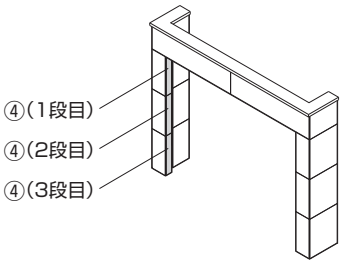


③の面（サイドパネル側面）の貼り付け

『①の面（サイドパネル内側、家側）の貼り付け』（P.6、7）と同様の手順で、**水切材「C」➡アートボード「③」「③'」➡出隅コーナー「J」**（1台用）**「K」**（2台用）の順で貼り付けます。
※必ず割付図（P.5）の「貼付No.」を確認してください。



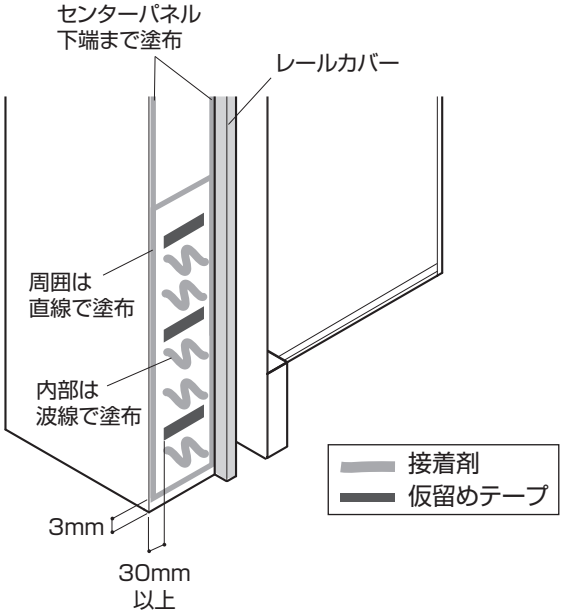
④の面（サイドパネル内側、道路側）の貼り付け



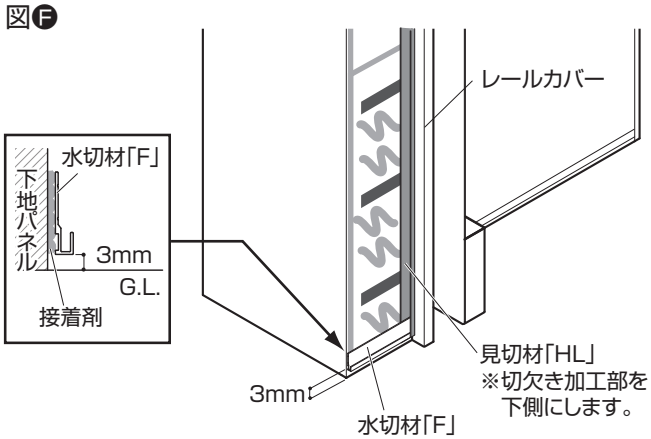
1）『①の面（サイドパネル内側、家側）の貼り付け』（P.6、7）を参照して、**仮留めテープ**と**接着剤**を塗布します。縦方向の**接着剤**はセンターパネル下端まで塗布します。【図Ⓔ】
※水切材取り付けのため、柱埋め込み部から3mm、すき間を開けてください。
※出隅コーナー取り付けのため、コーナー部縦方向30mm以上あけて、**仮留めテープ**を貼り付けてください。
※必ず割付図（P.5）の「貼付No.」を確認してください。

2）**水切材「F」**をG.L.より3mmあけて、取り付けます。**見切材「HL」**を切欠加工部を下側にしてレールカバーに沿って、取り付けます。【図Ⓕ】

図Ⓔ



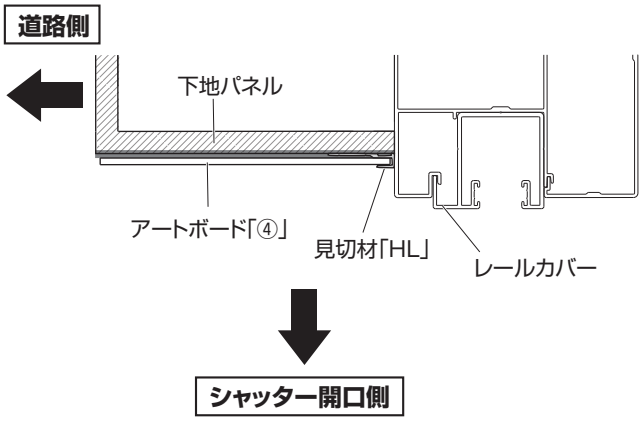
図Ⓕ



組立・施工

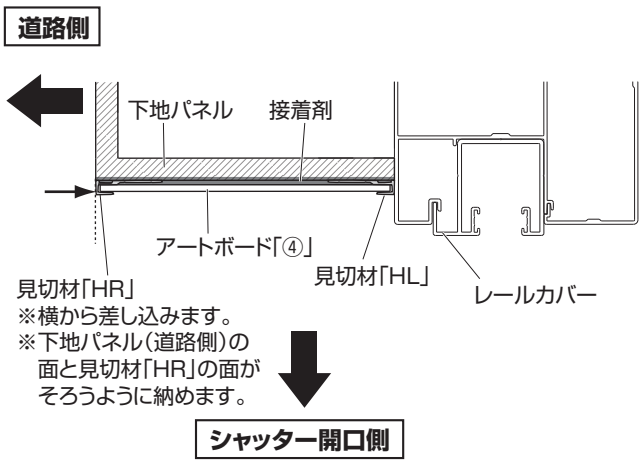
3)**水切材「F」**と**見切材「HL」**の溝に、**アートボード「④」**(3段目)を差し込み、貼り付けます。
2段目、1段目も同様に**仮留めテープ**と**接着剤**を塗布し、**アートボード「④」**を貼り付けます。【図Ⓖ】
※下段の**アートボード「④」**と3mm、すき間を開けてください。
※1枚分ずつ貼り付けてください。

横断面図

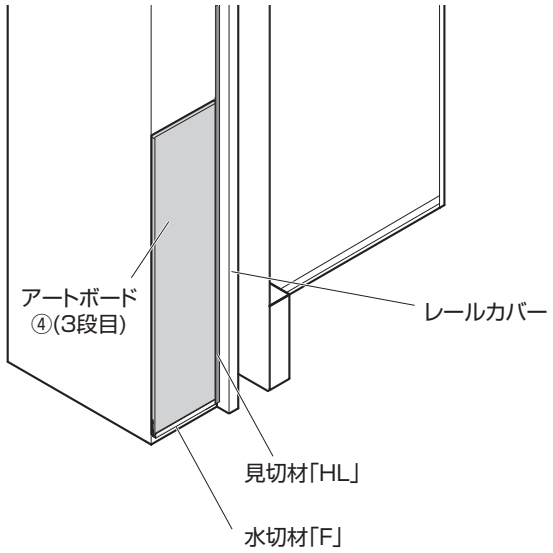


4)コーナーに**接着剤**を塗布します。**見切材「HR」**を切欠き加工部を下にして、**アートボード「④」**の下側に横から差し込み、貼り付けます。【図Ⓗ】

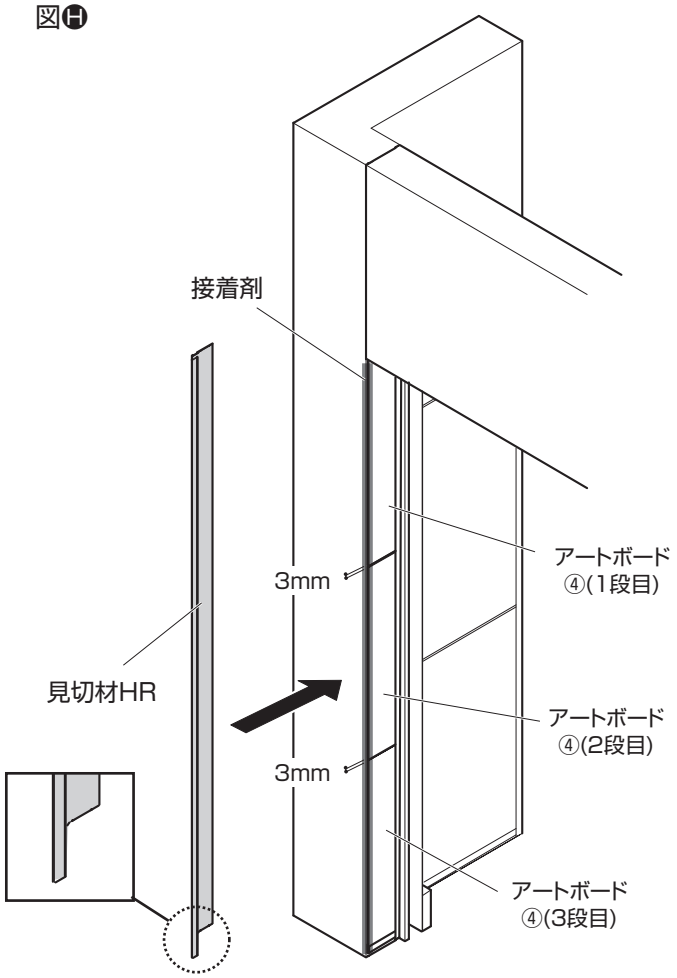
横断面図



図Ⓖ

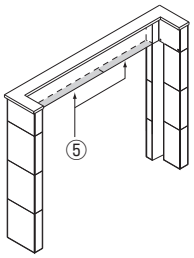


図Ⓗ



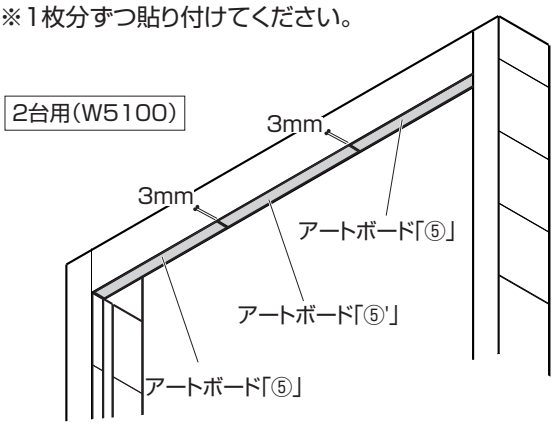
組立・施工

⑤の面（センターパネル裏側）の貼り付け



1）センターパネル裏面の下地パネルに**仮留めテープ**と**接着剤**を塗布します。【図❶】
※出隅コーナー取り付けのため、コーナー部横方向30mm以上あけて、**仮留めテープ**を貼り付けてください。
※必ず割付図（P.5）の「貼付No.」を確認してください。

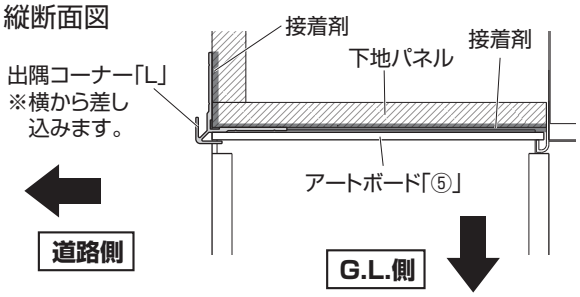
2）**アートボード⑤**をセンターパネル裏面に貼り付けます。【図❷】
※2台用（W51）のみ、**アートボード「⑤'」**を貼付してください。
※**アートボード⑤⑤'**はそれぞれ3mm、すき間を開けてください。
※1枚分ずつ貼り付けてください。



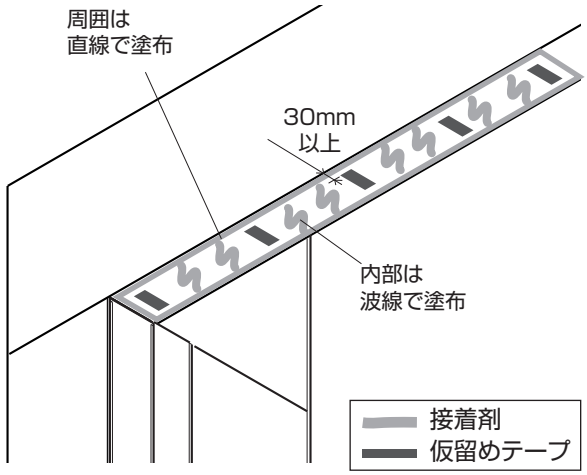
※2台用（W51）のみ、**アートボード「⑤'」**を貼付してください。

3）センターパネル道路側の開口部下、横方向に**接着剤**を塗布します。**出隅コーナー「L」**を**アートボード「⑤」**の下側に横から差し込み、貼り付けます。【図❸】
※2台用は、2本並べて貼り付けます。

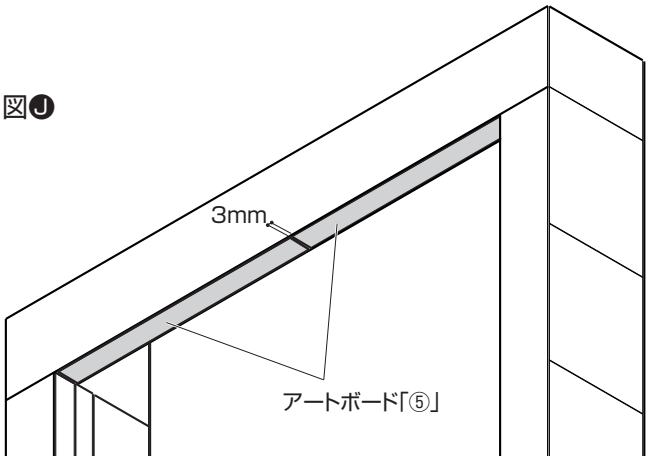
縦断面図



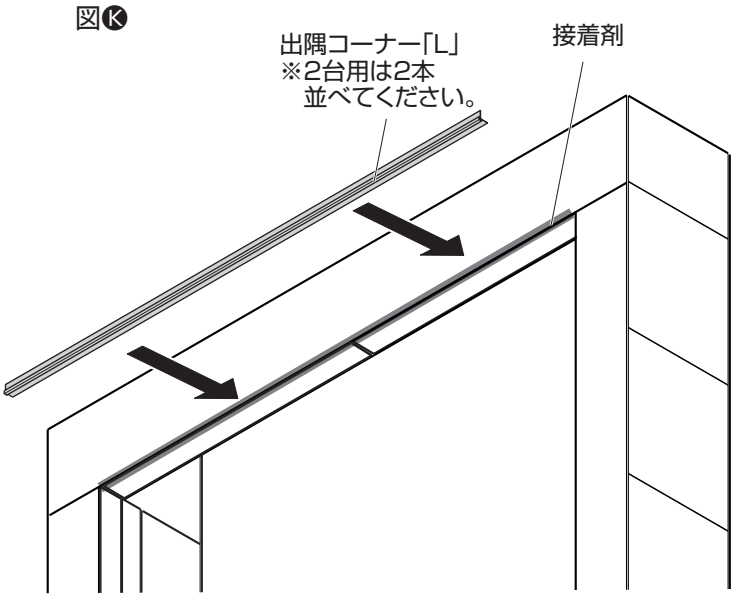
図❶



図❷

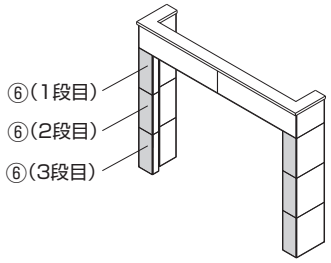


図❸



組立・施工

⑥の面（サイドパネル 道路側）の貼り付け



1）『①の面（サイドパネル内側、家側）の貼り付け』（P.6、7）を参照して、**仮留めテープ**と**接着剤**を塗布します。縦方向の**接着剤**はセンターパネル下端まで塗布します。【図Ⓛ】

※水切材取り付けのため、柱埋め込み部から3mm、すき間を開けてください。

※出隅コーナー取り付けのため、コーナー部縦方向30mm以上あけて、**仮留めテープ**を貼り付けてください。

※必ず割付図（P.5）の「貼付No.」を確認してください。

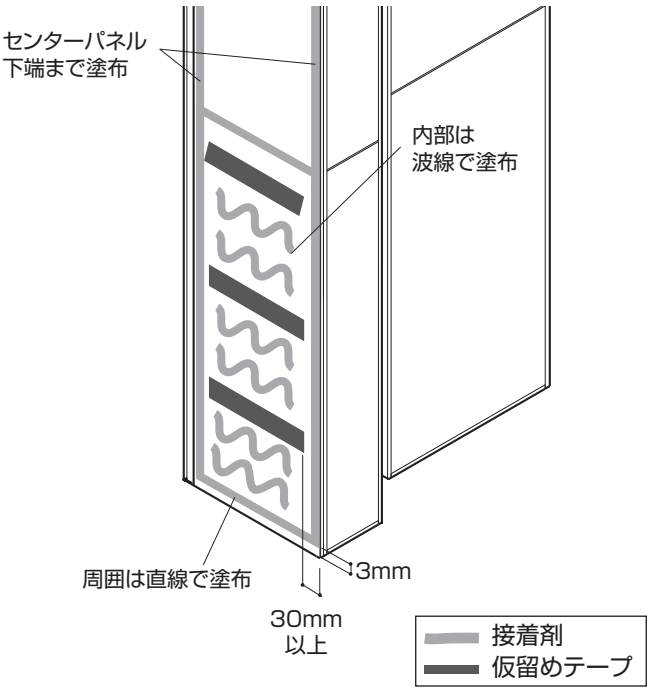
2）**水切材B**をG.L.より3mmあけて、取り付けます。【図Ⓜ】

3）**水切材B**をG.L.より3mmあけて、取り付けます。**アートボード「⑥」**（3段目）を**水切材B**と**出隅コーナー「J」**（③の面で取付済）の溝に差し込み、貼り付けます。
2段目、1段目も同様に、**仮留めテープ**と**接着剤**を塗布し、**アートボード⑥**を貼り付けます。【図Ⓝ】

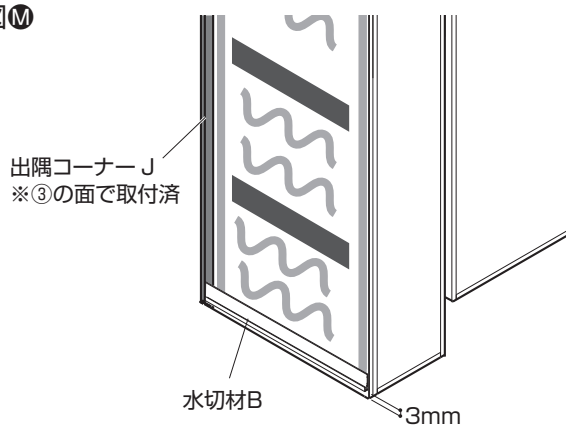
※下段の**アートボード「⑥」**と3mm、すき間を開けてください。

※1枚分ずつ貼り付けてください。

図Ⓛ

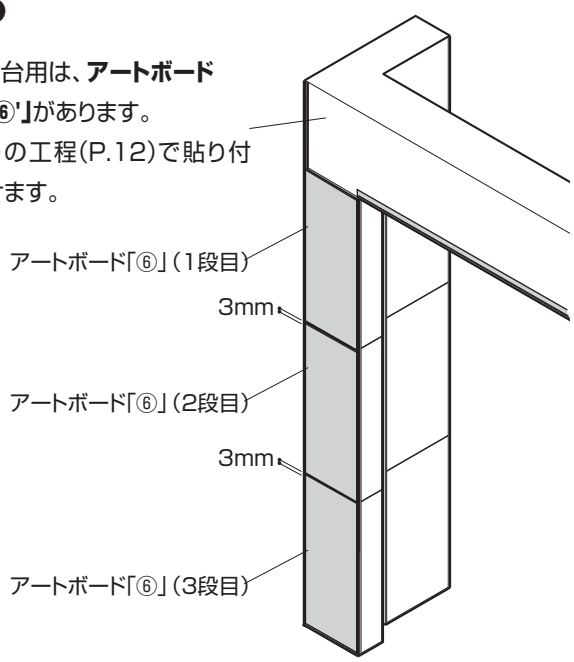


図Ⓜ



図Ⓝ

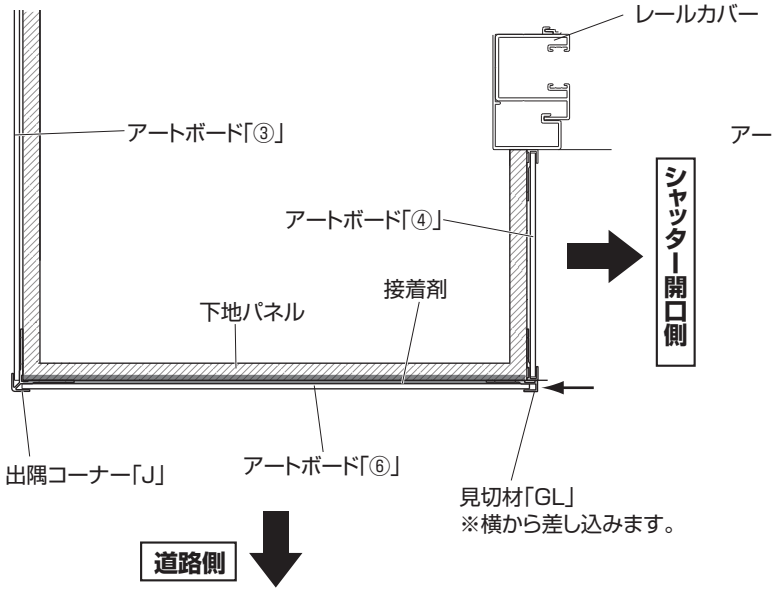
※2台用は、**アートボード「⑥'」**があります。
5）の工程（P.12）で貼り付けます。



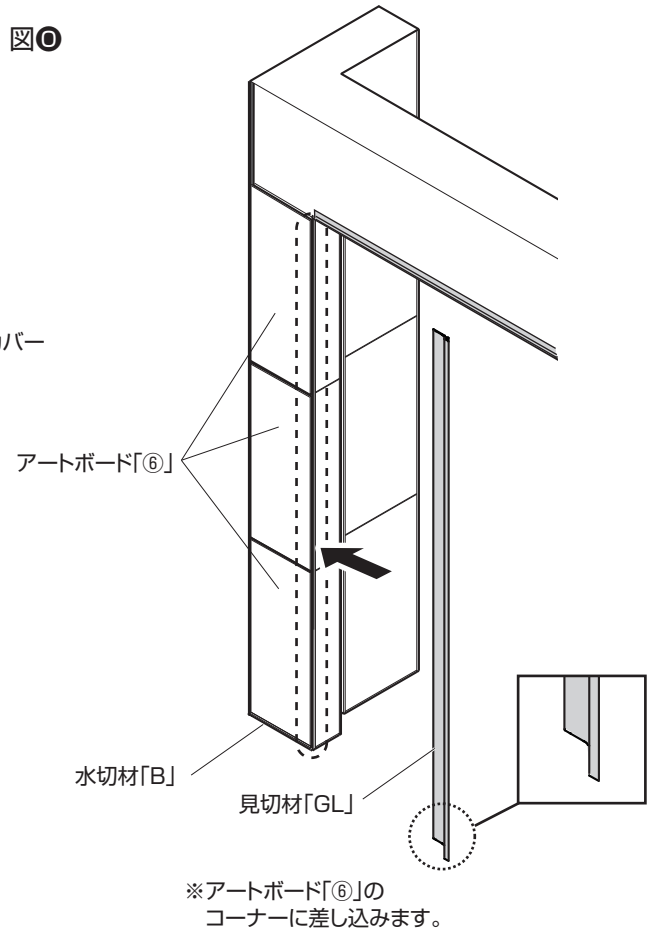
組立・施工

4)**見切材「GL」**を切欠き加工部を下にして、**アートボード「⑥」**の下側に横から差し込み、貼り付けます。【図Ⓞ】

横断面図



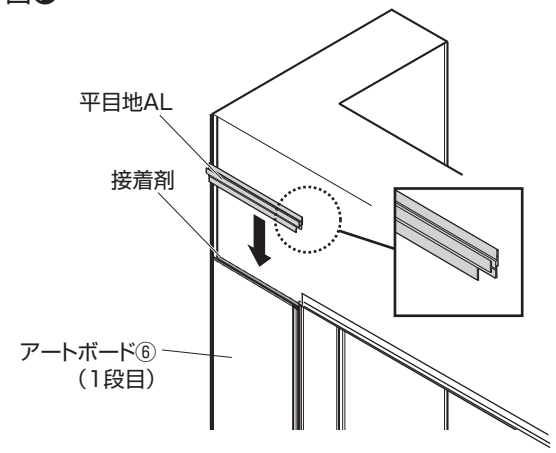
図Ⓞ



1台用の場合

5)**アートボード「⑥」**（1段目）上部の下地パネルに**接着剤**を塗布します。**平目地「AL」**を切欠き加工部を下にして、**アートボード「⑥」**（1段目）の下側に差し込み、貼り付けます。【図Ⓟ】

図Ⓟ

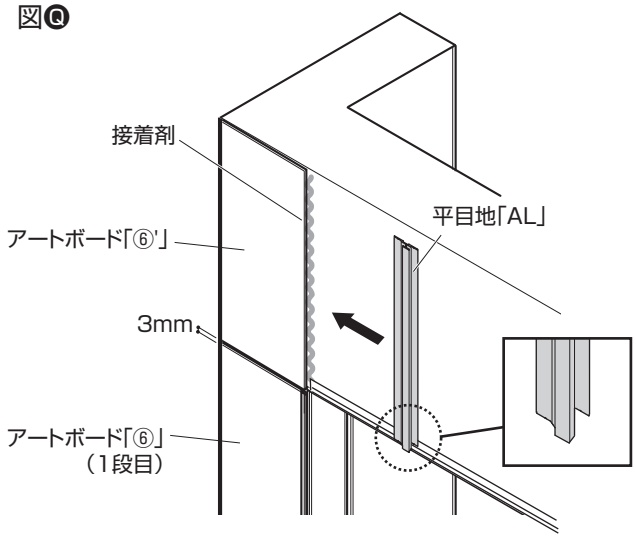


2台用の場合

5)**アートボード「⑥」**（1段目）上部の下地パネルに**仮留めテープ**と**接着剤**を塗布し、**アートボード「⑥'」**を貼り付けます。
※下段の**アートボード「⑥」**と3mm、すき間を開けてください。

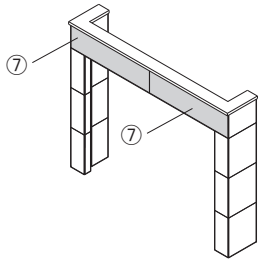
6)**アートボード「⑥'」**の横側に**接着剤**を塗布します。**平目地「AL」**を切欠き加工部を下にして、**アートボード「⑥'」**の下側に差し込み、貼り付けます。【図Ⓠ】

図Ⓠ



組立・施工

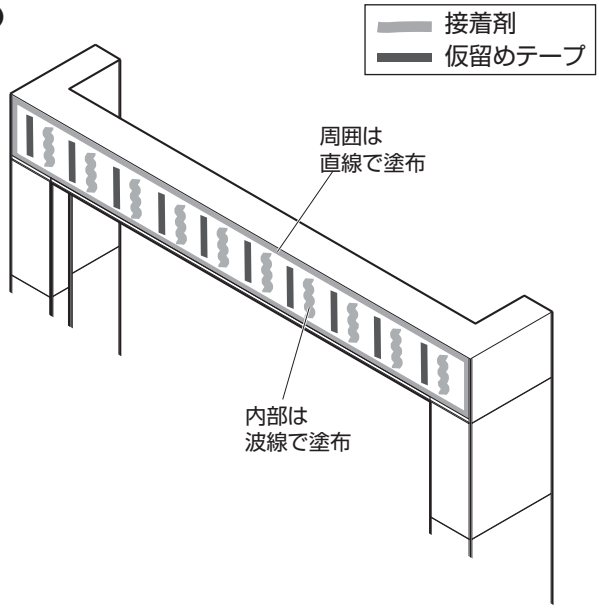
⑦の面（センターパネル正面）の貼り付け



1）『①の面（サイドパネル内側、家側）の貼り付け』（P.6、7）を参照して、**仮留めテープ**と**接着剤**を下地パネルに塗布します。【図Ⓡ】

※必ず割付図（P.5）の「貼付No.」を確認してください。

図Ⓡ

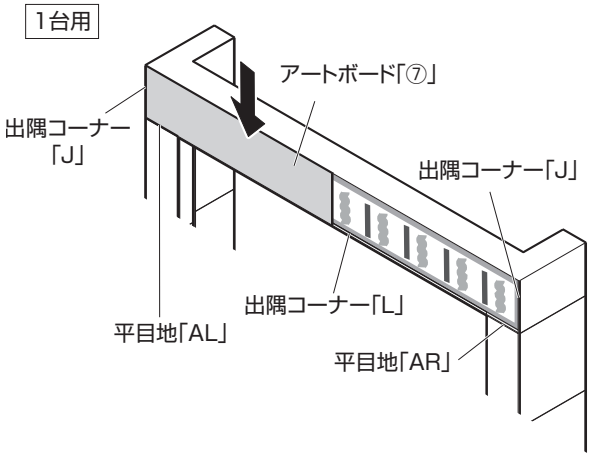


1台用の場合

2）1台用は**出隅コーナー L**（⑤の面で取付済）と**出隅コーナー「J」**（③の面で取付済）、**平目地「AR」**（⑥の面で取付済）の溝に、**アートボード「⑦」**を上から差し込み、貼り付けます。

※**アートボード「⑦」**は3mm、すき間を開けてください。

1台用



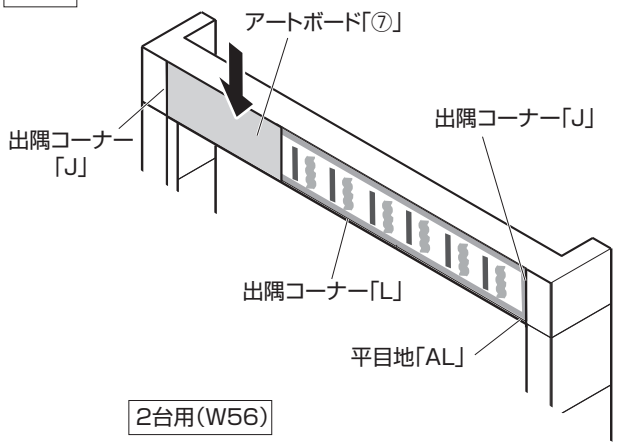
2台用の場合

2）2台用は**出隅コーナー L**（⑤の面で取付済）と**出隅コーナー「J」**（③の面で取付済）、**平目地「AL」**（⑥の面で取付済）の溝に、**アートボード「⑦」**を上から差し込み、貼り付けます。

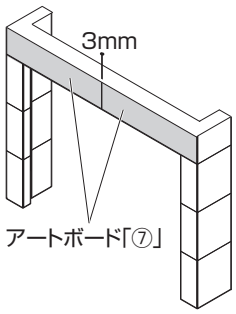
※2台用（W51）のみ、**アートボード「⑦'」**を貼付してください。

※**アートボード「⑦」「⑦'」**は3mm、すき間を開けてください。

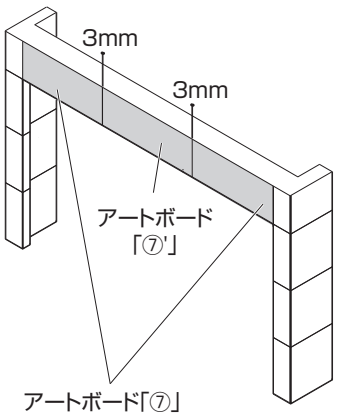
2台用



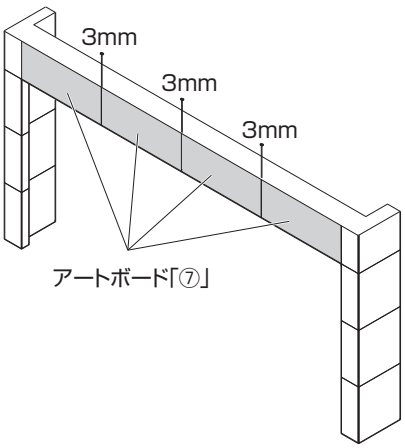
1台用



2台用（W51）



2台用（W56）



組立・施工

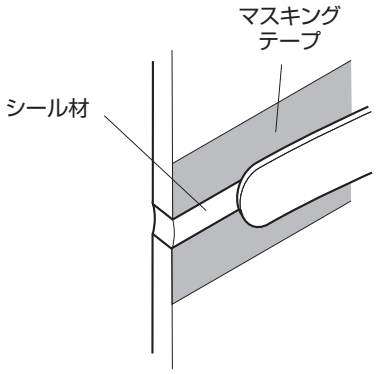
シール処理

※**アートボード**の3mmの目地部分全てにシールを打ちます

1)**アートボード**の端部をマスキングテープ(現場手配)で養生し、シールを打ちます。

2)余分なシール材を、シールを打つヘラ等でかき取ります。

3)シール材が硬化した後、マスキングテープを取り除きます。



※以降の組み立てについては、三和シャッター「サンゲートR型」(下地パネルタイプ)取扱説明書10ページ「■上部水切りの取付(2台用のみ)」をご確認ください。

メモ

メモ

お客様サービスセンター 通話料無料 0120-51-4128（こい よいにわ） 受付時間/月～金　AM9:00～PM5:00（祝日は除く）
株式会社タカショー 本社／〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂20-1　TEL. 073-482-4128（代）　FAX. 073-486-2560（代）